建設リサイクル法対象　建設工事

電子縦覧対象工事

令和　８　年度

工事番号　　平　公　上　工　　第　　21　　号

配水管耐震化（新屋１工区）工事

特記仕様書

平川市　新屋　地内

青　　森　　県
平　　川　　市

第1条　適用範囲

本工事は、青森県県土整備部制定「共通仕様書」に準拠するほか、本特記仕様書により施工するものとする。仕様書の記載内容の優先は、「土木工事特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

第2条　施工条件明示

下表項目、事項のうち該当欄は、工事施工に当たって制約等を受けることとなるので明示する。なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない施工条件が発生した場合は、監督職員と協議し適切な処置を講ずるものとする。

<table>
<tr><th colspan="2">明示事項</th><th colspan="8">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="15">1.工程関係</td><td rowspan="8">1.工事日数又は工期</td><td>☑</td><td colspan="7">工期　令和　9　年　3　月　31　日　まで</td></tr>
<tr><td>☐</td><td colspan="7">工事日数　　日間</td></tr>
<tr><td>☐</td><td colspan="7">この工事の工期は、猛暑日による作業の休止を考慮して設定している。　（考慮した日数　5 日間）</td></tr>
<tr><td>☐</td><td colspan="7">この工事の工期は、春先の工事着手を想定して設定されている</td></tr>
<tr><td>☐</td><td colspan="7">この工事は、　　年債務であり、契約年度内に出来高の確保が必要である。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">☐</td><td rowspan="3">この工事は、「余裕期間制度」を適用する。</td><td>実工期</td><td colspan="6">日間</td></tr>
<tr><td>余裕期間</td><td colspan="6">契約締結の翌日から　　日以内</td></tr>
<tr><td>留意事項</td><td colspan="6">受注者は現場着手日報告書（別紙様式）を提出することにより、請負契約を締結した翌日から発注者が設定する余裕期間内の任意の日を現場着手日として選択することができる。
なお、現場着手日は共通仕様書に定める工事着手を行う日であり、やむを得ない事情がある場合を除き休日とすることができない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">2.影響を受ける他の工事及び制約の有無

☑有 ☐無</td><td colspan="3">他工事の名称</td><td>発注者等名</td><td>影響を受ける箇所</td><td colspan="3">期間</td></tr>
<tr><td colspan="3">配水管耐震化（新屋2工区）工事</td><td>平川市</td><td>施工箇所全て</td><td colspan="3">契約した日の翌日 ～　R9.3.31</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td></td><td></td><td colspan="3">～</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td></td><td></td><td colspan="3">～</td></tr>
<tr><td>時間帯</td><td colspan="2">工種</td><td colspan="3">制約内容</td><td colspan="2">その他</td></tr>
<tr><td>～</td><td colspan="2">全工種</td><td colspan="3">配水管布設、舗装復旧時期の調整</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>～</td><td colspan="2"></td><td colspan="3"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>～</td><td colspan="2"></td><td colspan="3"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">3.施工時期・時間、施工方法制約の有無

☐有 ☑無</td><td>制約の要因</td><td>工種</td><td colspan="2">時期</td><td colspan="2">時間帯</td><td>制約の内容</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">～</td><td colspan="2">～</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">～</td><td colspan="2">～</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">～</td><td colspan="2">～</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">4.関連機関等との協議未成立に伴う制約の有無

☐有 ☑無</td><td>関連機関名称</td><td colspan="2">協議内容</td><td>成立見込時期</td><td>制約箇所</td><td colspan="2">制約内容</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">5.関係機関等との協議結果、工程に影響を受ける特定条件の有無

☐有 ☑無</td><td>関係機関名称</td><td colspan="2">影響を受ける箇所</td><td colspan="2">影響を受ける期間</td><td colspan="2">影響を受ける内容</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">～</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">～</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">～</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">～</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">6.地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査・移設による制約の有無

☐有 ☑無</td><td colspan="2">地下埋設物・埋蔵文化財名称</td><td>管理者の名称</td><td colspan="2">事前調査の時期</td><td colspan="2">移設時期</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

明示事項		内容
2.ICT及びBIM/CIMの活用	1.ICT施工の実施	本工事におけるICT活用工事の実施及び費用の計上は以下のとおりである。 なお、ICT活用工事の実施方法は、整備企画課ホームページに掲載している「ICT活用工事実施要領」による。 https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/i-construction.html

対象工種及び費用の計上

発注者指定型	受注者希望型	工種	費用の計上	
			当初	変更
✔	－	土工（1,000m3以上・1,000m3未満）	有	
※	※	作業土工（床掘）	－	
－	－	法面工	－	
※	※	付帯構造物設置工	－	
－	－	擁壁工	－	
－	－	地盤改良工	－	
－	－	基礎工	－	
－	✔	河川浚渫工	無	
－	✔	舗装工	無	
－	－	舗装工（修繕）	－	
－	－	構造物工（橋梁上部、橋梁・橋台）	－	
－	－	コンクリート堰堤工	－	

上表において、発注者指定型及び受注者希望型のどちらにも✔がない場合でも、受注者が希望する場合は、協議のうえ受注者希望型と同様の取扱とする。なお、総合評価落札方式（簡易型Ⅱ）においては、受注者希望型の欄に✓を付した工種を評価対象とする。

※作業土工（床掘）及び付帯構造物設置工は、他の工種と併用する場合に活用することができる。

3次元設計データの有無

	有
✔	無
	その他

施工に必要となる3次元設計データのうち、本工事で作成が必要な範囲

3次元データは作成していないため、新たに作成する必要がある。

アンケート調査への協力について

受注者は、ICT活用可能な工種が含まれる工事を実施する場合、ICT活用工事実施アンケートに回答すること。

アンケートは、以下のアドレスまたは右のQRコードから回答可能である。

https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=10591

	2.BIM/CIMの活用	本工事におけるBIM/CIMの活用は、第6条に記載のとおり。

3.用地関係	1.工事用地等の未処理部分の有無 ☐有 ☑無	未処理の箇所	影響を受ける範囲	影響を受ける工種	取得見込時期
	2.工事用地等の使用終了後における復旧条件の有無 ☐有 ☑無	復旧が必要な場所	復旧が必要な範囲	復旧条件	復旧完了予定日
	3.工事用仮設道路・資機材置き場用借地の有無 ☐有 ☑無	借地の場所	借地の面積	借地の期間	使用条件	復旧方法
				～		
				～		
				～		
	4.仮設ヤード指定の有無 ☐有 ☑無	指定の場所	指定の面積	使用期間	使用条件	復旧方法
				～		
				～		
				～		
4.公害関係	1.公害防止に伴う制限の有無 ☐有 ☑無	公害の種別	対象工種	内容	作業時期	その他
					～	
					～	
					～	
	2.水替・流入防止施設の必要性の有無 ☐有 ☑無	対象工種	場所	施工方法	施工期間等
	3.濁水・湧水処理への特別な対策必要性の有無 ☐有 ☑無	対象工種	処理内容	処理条件	期間
	4.事業損失等、第三者に被害を及ぼすことが懸念されるか ☐有 ☑無	懸念事項・範囲	調査の内容	調査の実施時期	報告書の有無

明示事項		内容				
5.安全対策関係	1.交通安全施設等の指定の有無 ☐有 ☑無	施設の種類	対象工種	設置期間	施設の内容等	
	2.近接施工の有無 ☐有 ☑無	施設の名称	管理者	範囲	協議状況	条件・制限等の内容
	3.防護施設必要性の有無 ☐有 ☑無	危険要因	施設の種類・名称	施設の規格	設置期間	
	4.保安設備、保安要員配置の指定の有無 ☑有 ☐無	保安設備・保安要員	対象工種	配置場所	規格・規模	設置期間及び時間帯
		交通誘導警備員B	全工種	施工区間前後	158人	対象工事施工期間
	5.発破作業等制限の有無 ☐有 ☑無	制限される範囲	制限の内容	制限される期間・時間	その他	
	6.有毒ガス及び酸素欠乏等対策の指定の有無 ☐有 ☑無	危険要因	対象工種	施設の規格・規模		
6.工事用道路関係	1.搬入路としての一般道路指定の有無 ☐有 ☑無	搬入経路	使用期間	使用時間帯	制限の内容	
			～	～		
			～	～		
		使用中の管理の内容		使用後の補修の内容		
	2.仮設道路設置の有無 ☐有 ☑無	設置場所	規格・構造	安全施設設置区間	安全施設の内容	
				～		
				～		
		維持補修の内容		工事終了後の処置		
7.仮設備関係	1.指定仮設の有無 ☐有 ☑無	仮設物の名称・規格	数量	設置期間	条件等	
				～		
				～		
				～		
	2.部分指定仮設の有無 ☐有 ☑無	仮設物の名称・規格	数量	設置期間	条件等	
				～		
				～		
				～		
	3.他の工事への引渡しの有無 ☐有 ☑無	仮設物の名称・規格	引渡し工事名	引渡し時期	条件等	
	4.引継ぎ使用の有無 ☐有 ☑無	仮設物の名称	設置工事名	設置工事施工者	引継ぎ時確認事項	
		引継ぎ時期	条件等			
	5.構造及び施工方法指定の有無 ☐有 ☑無	仮設物の名称	仮設物の規模	使用材料	施工方法	
	6.設計条件指定の有無 ☐有 ☑無	仮設物の名称	設計条件	その他		

明示事項		内容
8.建設副産物関係	1.建設発生土の搬出 ☑有 ☐無	本工事において発生する建設発生土の搬出は、以下のとおりである。 なお、搬出作業完了後、搬出先の管理者等に対し受領書の交付を求めること。

搬出先の情報		名称等	㈱トウリア		
		所在地	大鰐町大字長峰		
		管理者			
		運搬距離	21.5km		
搬出する土砂		土質区分	第2種建設発生土		
		搬出量(m3)*	258		
		利用用途	一時堆積		
法規制等の有無	盛土規制法	該当区域	特盛区域		
		許可・届出	許可不要		
		許可番号等			
	土地所有者等の同意		その他(同意不要)		
	土壌汚染対策法		対象外		
	その他法令等		該当無		
設計上の取扱い			A指定処分		
搬出時期					
その他条件					

*搬出量は地山相当(C=1.0、L=1.0)の数量である。

2.建設発生土の搬入 ☐有 ☑無	本工事において使用する建設発生土の搬入は、以下のとおりである。 なお、搬入完了後、発生場所の管理者等に対し受領書を交付すること。

搬入元の情報		名称等			
		所在地			
		管理者			
		運搬距離			
搬入する土砂		土質区分			
		搬入量(m3)*			
		利用用途			
搬入時期					
その他条件					

*搬入量は地山相当(C=1.0、L=1.0)の数量である。

3.建設副産物の現場内での減量化・再利用の有無 ☐有 ☑無	種別	減量化の内容	再利用の方法	その他

4.建設廃棄物の有無 ☐有 ☑無	下記の所在地にある処分場は設計積算上での条件明示であり、処分場を指定するものでない。 実際に搬出先とする処分場については、施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得ること。 施工計画書の提出を要しない工事の場合は、工事打合簿を提出し、監督職員の承諾を得ること。				
	種別	発生量	運搬距離	最終処分場所在地	その他

5.建設副産物の有無 ☑有 ☐無	下記の所在地にある処理施設は設計積算上での条件明示であり、処理施設を指定するものでない。 実際に搬出先とする処理施設については、施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得ること。 施工計画書の提出を要しない工事の場合は、工事打合簿を提出し、監督職員の承諾を得ること。				
	種別	発生量	運搬距離	再生処理施設所在地	その他
	As殻	96.5t	7.0km	平川市	
	無筋Co殻	3.4t	7.0km	平川市	

6.再生資材利用の有無 ☑有 ☐無	再生資材の名称	規格	使用箇所
	再生合材	⑤再生密粒度As(20F)	表層(本復旧)
	再生合材	②再生密粒度As(13)	表層(仮復旧)
	再生砕石	RC-40	下層路盤

7.産業廃棄物税計上の有無 ☐有 ☑無	本工事で発生する建設廃棄物については、青森県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること
	有:本工事では、青森県産業廃棄物税相当額を計上している
	無:本工事では、青森県産業廃棄物税相当額を計上していないが、必要に応じ設計変更で対応する

明示事項		内容					
9.工事支障物件等	1.占用物件等の工事支障物件の有無 ☐有 ☑無	支障物件名	管理者名	場所	協議の状況	移設時期	
		工事方法		条件等			
	2.占用物件工事との重複施工の有無 ☐有 ☑無	占用物件名	管理者名	重複する工種	重複する期間	対応内容	
					～		
					～		
					～		
10.薬液注入関係	1.薬液注入工事の有無 ☐有 ☑無	設計条件	工法区分	材料種類	施工範囲	削孔数量	削孔延長
		注入量	注入圧	その他			
	2.周辺環境影響調査の有無 ☐有 ☑無	調査項目		採取地点	採取回数	報告書の有無	
11.その他	1.工事用資機材の保管及び仮置きの有無 ☐有 ☑無	種類	数量	保管・仮置き場所	期間		
					～		
					～		
					～		
		保管方法	積込・運搬方法				
	2.工事現場発生品の有無 ☐有 ☑無	品名	数量	引渡し場所	引渡し時期	運搬距離	
	3.支給材料及び貸与品の有無 ☐有 ☑無 ☐貸与品 ☐支給材料	品名	数量	構造・規格等	引渡し場所	返納場所	
		使用目的・箇所		条件	引渡し時期	その他	
	4.随意契約工事に伴う間接費等調整の有無 ☐有 ☑無	工事番号	工事名		場所		
		※本工事は、上記工事と間接費等の調整を行っている。					
	5.各種調査の有無 ☐有 ☑無 ※共通仕様書に基づき協力すること	調査名称		内容		その他	

<table>
<tr><th colspan="2">明示事項</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="10">11.その他</td><td>6.共通仕様書に定める以外の施工検査の有無
☑有 ☐無</td><td>工種等</td><td>検査時期</td><td>その他</td></tr>
<tr><td colspan="3">監督職員との協議による。</td></tr>
<tr><td>7.中間検査の有無
☐有 ☑無</td><td>工種等</td><td>検査時期</td><td>その他</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>8.部分引渡しの有無
☐有 ☑無</td><td colspan="2">指定部分</td><td>引渡し時期</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>9.部分使用の有無
☐有 ☑無</td><td>使用箇所</td><td>使用期間</td><td>その他</td></tr>
<tr><td colspan="3">～</td></tr>
<tr><td colspan="3">～</td></tr>
<tr><td colspan="3">～</td></tr>
<tr><td>10.工事現場の現場環境改善</td><td colspan="3">本工事における現場環境改善の実施及び費用の計上は以下のとおりである。
なお、現場環境改善の実施方法は、整備企画課ホームページに掲載している「現場環境改善実施要領」による。
※熱中症対策・防寒対策に要する費用は率計上とは別に積み上げ計上することができる。詳細は要領に記載。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html

現場環境改善の実施について
<table>
<tr><th></th><th>当初</th><th>変更</th></tr>
<tr><td>対象</td><td>✔</td><td></td></tr>
<tr><td>対象外</td><td></td><td></td></tr>
</table>
現場環境改善費の計上方法
<table>
<tr><th></th><th>当初</th><th>変更</th></tr>
<tr><td>率計上</td><td>✔</td><td></td></tr>
<tr><td>積み上げによる計上</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>計上していない</td><td></td><td></td></tr>
</table>
発注者による実施内容の指定
<table>
<tr><th>実施項目</th><th>指定の有無</th><th>指定する内容</th></tr>
<tr><td>仮設備関係</td><td>無（任意）</td><td></td></tr>
<tr><td>安全設備関係</td><td>無（任意）</td><td></td></tr>
<tr><td>営繕設備関係</td><td>無（任意）</td><td></td></tr>
<tr><td>地域連携</td><td>無（任意）</td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td rowspan="15">11.その他</td><td>11.監督職員の検査を受けて使用すべき材料の有無
☐有 ☑無</td><td>材料名</td><td>工事段階</td><td>備考</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>12.監督職員の立会いの上で調合すべき材料の有無
☐有 ☑無</td><td>材料名</td><td>工事段階</td><td>備考</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>13.調合について監督職員の見本検査を受ける材料の有無
☐有 ☑無</td><td>材料名</td><td>工事段階</td><td>備考</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>14.監督職員立会いの上、施工すべき工種の有無
☐有 ☑無</td><td>工種名</td><td>工事段階</td><td>備考</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>15.工事調整会議開催の有無
☐有 ☑無</td><td colspan="3">工事調整会議とは、工事着手前に設計の意図及び目的を施工者へ的確に伝え、設計及び施工条件、施工上の留意点などを確認、協議することにより、工事施工の円滑化と品質の確保を目的とし、発注者・設計者・施工者により構成される会議である。</td></tr>
<tr><td>16.地盤情報登録の有無
☐有 ☑無</td><td colspan="3">本工事は、地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」の検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない工事である。詳細は、一般財団法人国土地盤情報センターホームページ(https://ngic.or.jp/)参照のこと。</td></tr>
</table>

11.その他 － 17 青森県認定リサイクル製品の使用

本工事は「青森県認定リサイクル製品優先使用指針」に基づき、「青森県認定リサイクル製品」を使用し工事を実施するよう努めるものとする。

なお、「青森県認定リサイクル製品」の入手が困難な場合のほか、使用できない理由がある場合は、その旨を書面で提出し、監督職員の承諾を得て新材製品を使用するものとする（Aグループのみ）。

【青森県認定リサイクル製品優先使用指針-使用上のグループ区分に基づく認定製品の使用】

Aグループ	特段の理由がない限り、優先使用に努める。
Bグループ	試験的な使用等、積極使用に努める。

※使用上のグループ区分は、価格と施工実績によるもので製品の優劣で定めたものではない。
Bグループの製品であっても使用できる工種がある場合は使用するよう努めるものとする。

製品のパンフレットや優先使用指針、使用様式は下記の資源循環推進課ホームページに掲載しています。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyo/nintei_recycle.html

11.その他 － 18 1日未満で完了する作業の積算

(1) 詳細については「国土交通省 土木工事標準積算基準書」を参照すること。

(2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について協議の発議を行うことができる。

(3) 下記などの1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。
・通年維持工事、災害復旧工事等で人工精算する場合
・「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合

(4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を監督職員に提出すること。実際の費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

11.その他 － 19 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資材名	規格	調達地域等

本項目に関する運用マニュアルや使用様式は下記ホームページに掲載しています。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/sekkei_henkou.html

11.その他 － 20 労働者確保に要する間接費の設計変更

1.本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。

営 繕 費：労働者送迎費、宿泊費、借上費（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る。）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2.受注者から協議があった場合、発注者は工事費構成書にて共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象費の割合を提示するものとする。

3.受注者は、前条で示された割合を参考にして実績変更対象費に係る費用の内訳を記載した実施計画書（様式1）を作成し、監督職員に提出するものとする。

4.最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合は、変更実施計画書（様式2）及び実績変更対象費に実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

5.受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

6.実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、共通仮設費率分は、土木工事標準積算基準に基づく算出額から実施計画書（様式1）に記載された共通仮設費率分の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。また、現場管理費は、土木工事標準積算基準に基づく算出額から実施計画書（様式1）に記載された現場管理費の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。 なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

7.受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。

8.疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

本項目に関する運用マニュアルや使用様式は下記ホームページに掲載しています。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/sekkei_henkou.html

11.その他 － 21 快適トイレの導入について

(1) 本工事では、受注者が「快適トイレ」の設置を希望する場合に、共通仮設費に含まれている従来型トイレ(1万円/基・月)との差額を計上できるものとする。

(2) 受注者は、「快適トイレ」の設置を希望する場合、以下の①～⑪の仕様を満たすトイレを設置するものとする。⑫～⑰の項目については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。

●快適トイレに求める標準仕様
①洋式便座
②水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付きを含む）
③臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
（必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること）
④容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明できること）
⑤照明設備（電源がなくても良いもの）
⑥衣類掛け等のフック付き、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重5kg 以上）

●快適トイレとして活用するために備える付属品
⑦現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
⑧入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）
⑨サニタリーボックス（女性専用トイレに必ず設置）
⑩鏡付きの洗面台
⑪便座除菌シート等の衛生用品

●推奨する仕様、付属品
⑫室内寸法 900×900mm 以上（半畳程度以上）
⑬擬音装置
⑭着替え台（フィッティングボード等）
⑮フラッパー機能の多重化
⑯窓など室内温度の調整が可能な設備
⑰小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場）

(3) 設置に要する費用については、当初では計上していない。(2)を満たしていることを示す書類及び見積書を作成のうえ監督職員と協議し、変更時に計上するものとする。

(4) 計上費用は、実際に要した費用のうち従来型トイレ(1万円/基・月)との差額について57,000円/基・月(ハウス型快適トイレ等の場合は入口別に57,000円/基・月)を上限に計上するものとし、計上数量は、現場毎に必要性を協議の上、決定する。

(5) 計上費用の上限を超過した金額については計上を行わないが、現場環境改善費の率分計上による実施内容とすることができる。

(6) 快適トイレは現場付近に設置するものを対象とし、現場事務所内に備え付けられているトイレは本項目の対象としない。

快適トイレについての詳しい情報は、国土交通省ホームページをご覧ください。
https://www.mlit.go.jp/tec/kankyouseibi.html

第3条　設計変更の手続

設計変更等については、契約書第18条から第24条及び共通仕様書共通編1-1-14から1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）」（青森県 県土整備部）によるものとする。

第4条　使用材料の品質規格等

設計図書に記載された材料のうち、材料内訳及び規格・材質等について詳細な記載が無い材料について、以下に示す。

(1) 植生工材料

種子吹付の材料内訳については下表を参考とし、現地状況や発芽率を考慮の上、事前に配合計算書を提出し、監督職員の承諾を得ること。

（参考）　　100m2　当り

名称	規格・寸法・材質	数量	単位	備考
ﾄｰﾙﾌｪｽｸ		0.78	kg	
ｵｰﾁｬｰﾄﾞｸﾞﾗｽ		0.22	kg	
ｸﾘｰﾋﾟﾝｸﾞﾚｯﾄﾞﾌｪｽｸ		0.14	kg	
めどはぎ		0.05	kg	
よもぎ		0.03	kg	
やまはぎ		0.02	kg	
肥料　高度化成	NPK　15-15-15	18.00	kg	
ファイバー類		24.00	kg	

(2) 河川景観に配慮したコンクリートブロック

本工事で使用する河川景観に配慮したブロックは、以下の諸元を満足する材料を使用することとし、事前に監督職員の承諾を得ること。

勾　　配:　　1　:　＿＿＿

設計流速:　　＿＿＿　m／s

(3) その他

材料名	規格・寸法・材質	適用工種	備　　考

第7条　排出ガス対策型建設機械

排出ガス対策型建設機械が使用できない場合には、使用できない理由を書面（工事打合簿）により提出し、監督職員の承諾を受けることとする。

第8条　資源有効利用促進法省令に基づく建設副産物の取扱いについて

1 コブリス・プラスの活用

全ての工事は、コブリス・プラスの登録対象工事であり、受注者は、施工計画書作成時、工事完成時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかにコブリス・プラスにデータの入力を行うものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

2 建設発生土の搬出に係る事前確認

受注者は、建設発生土を工事現場から搬出する場合、再生資源利用促進計画の作成に先立ち、工事現場における土壌汚染対策法等に基づく手続きの状況や、搬出先における盛土規制法等による規制の有無及び許可等について、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は3の再生資源利用促進計画書に添付して提出するものとする。

3 再生資源利用（促進）計画書の作成

共通仕様書第1編1-1-19「建設副産物」において定める再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書は、コブリス・プラスを使用して作成し、施工計画書にその写しを添付して提出するものとする。

なお、施工計画書の作成が不要な工事及び記載内容に変更が生じた場合は、工事打合簿に添付して提出するものとする。

4 再生資源利用（促進）計画書等の掲示

受注者は、3において作成した再生資源利用（促進）計画書及び2において作成した確認結果票の写しを工事現場内の公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。

5 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設発生土の搬出を他の者に委託しようとする場合、運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画書の内容及び3の確認結果を通知しなければならない。

6 建設発生土に係る受領書の交付

建設発生土を搬出した工事の受注者は、建設発生土の搬出が完了したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

また、建設発生土を受け入れた工事の受注者は、受領書の交付を求められた際は、受領書を交付しなければならない。

7 再生資源利用（促進）実施書の作成

共通仕様書第1編1-1-19「建設副産物」において定める再生資源利用促進実施書及び再生資源利用実施書は、コブリス・プラスを使用して作成し、監督職員に提出するものとする。

8 作成書類の保管

受注者は、6において受領した受領書及び7において作成した再生資源利用（促進）実施書を工事の完成日から5年間保管するものとする。

第9条　その他の特記事項

本工事にかかるその他の特記事項は下表のとおりとする。

特記事項	特記事項の内容
低入札調査契約	低入札価格調査制度により落札された場合は、契約から14日以内に法定福利費を明示した工事打合簿を監督員へ提出すること。また、施工検査（工事段階検査……各工種）の実施について、施工計画書を基に打ち合わせをする。
法定外労災保険の契約	受注者は労働者災害補償保険法に基づく労災保険のほかに法定外の労災保険の契約を締結しなければならない。保険証券等を監督職員に提示し、確認を受けること。
工事情報共有システムについて	この工事では工事情報共有システムを利用することを原則とする。 なお、通信環境が確保できない場合など、工事情報共有システム利用基準で対象外とすることができる場合に該当するときは、監督職員とシステムの利用について協議すること。 工事情報共有システム利用基準 ＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html
工事書類の標準化	「土木工事共通仕様書（様式集）」の一部様式を含む県の工事関係書類については、県様式に加え国様式の提出も認めるものとする。 ただし、国様式の「工事名」欄には、「工事番号」と「工事名」を記載すること。 ＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/koujihyoujyunnka.html
工事書類スリム化ガイドライン	工事関係書類の提出については、「青森県県土整備部土木工事書類スリム化ガイドライン」によるものとする。 ＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/koujihyoujyunnka.html
遠隔臨場による施工検査等	本工事は、通信環境を構築できない場合を除き、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき施工検査等の遠隔臨場を実施する。 建設現場の遠隔臨場に関する試行要領　青森県県土整備部 ＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/enkakurinjo.html
施工体制の自己点検	受注者は、共通仕様書第1編1-1-10「施工体制台帳」において提出が義務付けられている施工体制台帳について、「青森県県土整備部建設工事施工体制点検要領」に基づき施工体制の自己点検を実施し、施工体制台帳並びに確認・点検した第1号様式、第2号様式、第3号様式及び第4号様式を監督職員に提出するものとする。 ＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/sekoutaisei.html
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条について	（法第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。） 法第12条第1項の規定について、説明書は契約時に契約事務担当職員に提出するものとする。
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条について	（法第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。） 法第18条第1項の規定による報告については、再資源化等が完了したとき、当該報告を監督職員に対して行うものとする。
「青森県リサイクル製品認定制度」に基づく認定リサイクル製品の使用について	認定リサイクル製品を使用する場合は、様式（28）に必要事項を記入のうえ、公衆の見やすい場所に掲示すること。
伐木・抜根材の有効利用	伐木、除根等により発生した伐木・抜根材を有用物として、有効利用する一般の希望者へ提供するので、伐木・抜根材を樹種・部位別に分別し、1～3m程度の長さに切断、1m未満のものを含めて集積し、整然と保管すること。 伐木・抜根材の発生情報を各県土整備事務所のホームページから公表するので、樹種・部位別の個数、重量、引渡期間、引渡場所、現場代理人の連絡先等を監督職員へ速やかに報告し、保管状況写真を提出すること。 引渡期間を経過した伐木・抜根材は、再資源化処理場へ搬出するなど適正に処理すること。
石綿障害予防規則に基づく工事	石綿障害予防規則に基づき、解体等の作業における保護具の装置、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用、特別の教育を請負者が実施する場合の費用については、当初積算では計上していないため、それらに要した費用について監督職員と協議の上、設計変更で見込むものとする。 また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、契約書の関係条項に基づき適切に変更することとする。
完成検査申請等	完成検査実施予定の前月15日までに予定日を監督職員に報告のこと。
青森県県土整備部請負工事成績評定要領第4条5項について	（請負代金が500万円以上の工事の場合に限る。） 受注者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式26、27により提出できる。
暴力団員等による不当介入に対する通報・報告義務	受注者は、受注者及び下請負者に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
舗装工事における工事記録の作成	青森県が管理する道路（道路法に基づく道路）について、新設・改築・維持・修繕の舗装工事を行う際は「舗装工事における工事記録作成要領」に基づき工事記録を作成し、工事完了後に監督職員へ提出すること。 ※工事着手前に監督職員から必要書類等（作成要領や提出様式の電子データ）の提供を受けること。
対策工事報告書の作成	青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル（案）に定める対策工事報告書（様式1，2，3）を作成し、工事完了後に監督職員へ提出すること。 ※工事着手前に監督職員から必要書類等（提出様式の電子データ）の提供を受けること。
建設キャリアアップシステムの活用	受注者が建設キャリアアップシステムを利用する場合、利用に必要な費用の一部を計上する。 ＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/CCUS.html
交通誘導システム等の活用	交通誘導警備員の就業者不足等により、交通誘導警備員の確保が困難な場合において、交通誘導警備員の代替として映像解析AIによる交通誘導システム等の使用を可能とする。 ＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/kotuyudo-sys.html

ウィークリースタンス等の実施について

本工事は、ウィークリースタンス等の実施対象工事である。受発注者双方における1週間のルールを目標として定めることにより、業務環境を改善をし、担い手の確保及び育成を目的とするものであり、実施内容については、「県土整備部発注工事におけるウィークリースタンス等の実施について」に基づき、初回打合せ時に、受発注者双方で確認・調整し、打合せ記録簿に記録しておくこととする。ただし、災害発生等により緊急対応を要する場合は対象外とする。

＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html

青森県県土整備部発注工事におけるデジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。対象工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、写真管理基準「2-2 撮影 方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」（URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html」記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、同条1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準に準ずるが、同条2. に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2. に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL（http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」の取り扱いについて

1. 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物におけるスランプ値の設定等

(1)現場の鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン（平成29年3月）」を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。

ただし、一般的な鉄筋コンクリート構造物においては、スランプ値は12 cmとすることを標準とする。

(2)青森県県土整備部の土木工事共通仕様書及び設計図書等の関係図書に記載のある一般的な鉄筋コンクリート構造物のスランプ値は、8 cmを12cmと読み替える。

※「一般的な鉄筋コンクリート構造物」とは、青森県県土整備部共通仕様書（参考資料）「レディーミクストコンクリート標準使用基準（土木工事）」⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑯⑰⑱に示す構造物である。

2. 品質確認について

スランプ値12 cmの場合は、青森県県土整備部「土木工事共通仕様書」及び「ガイドライン」により、品質の確認を行うこととする。

スランプ値12 cmを超える場合は、青森県県土整備部「土木工事共通仕様書」、「ガイドライン」及び「コンクリート標準示方書（施工編）」等に基づき、受注者と協議して品質確認方法を決めることとする。

熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記事項

1. 実施にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する実施要領」に基づき行うこと。

＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html

猛暑期間における現場施工回避について

1. 猛暑期間における現場施工回避については、下記のとおり協議することができる。

①猛暑期間の現場作業を回避することにより履行期間の延期が必要となる場合には、発注者と協議することができる。

②猛暑時間における現場作業回避（早朝・夜間作業）するにあたり、警察や地元等との調整を行う際に、発注者の臨場について協議することができる。

2. 実施にあたっては、「工事等の猛暑期間における現場施工回避に係る実施要領」に基づき行うこと。

＜整備企画課HP＞ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html

第10条　提出書類

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	条項	備考
監督職員	工事工程表	契約締結後14日以内	1部	3条	
監督職員	現場代理人等通知書	着工時	1部	10条	
監督職員	工事履行報告書	毎月1回監督職員の指定する日	1部	11条	毎月1部提出のこと
監督職員	完成届	工事完成の日から5日以内	1部	31条	
監督職員	引渡書	工事完成検査合格後	1部	31条	
監督職員	請求書	工事完成検査合格後	1部	32条	

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	条項	備考
監督職員	請負代金内訳書	契約締結後14日以内	1部	3条	3条(A)(B)適用の場合
監督職員	現場代理人等変更通知書	必要の都度	1部	10条	
監督職員	材料確認書	必要の都度	1部	13条	
監督職員	確認・立会依頼書	必要の都度	1部	14条	
監督職員	支給品受領書	引渡しの日から7日以内	1部	15条	
監督職員	貸与品借用(返納)書	引渡しの日から7日以内	1部	15条	
監督職員	工期延期届	必要の都度	1部	21条	

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	条項	備考
監督職員	工事打合簿	必要の都度	1部	第1編1-1-7	
監督職員	再生資源利用計画書	着工前及び必要の都度	1部	第1編1-1-19	
監督職員	再生資源利用促進計画書	着工前及び必要の都度	1部	第1編1-1-19	
監督職員	再生資源利用実施書	工事完成後速やかに	1部	第1編1-1-19	
監督職員	再生資源利用促進実施書	工事完成後速やかに	1部	第1編1-1-19	
監督職員	工事写真	工事完成の日から5日以内及び 必要の都度	部 1部	第1編1-1-19	工事写真全部(CD-R) 着工前・完成のみ
監督職員	施工管理図表	工事完成の日から5日以内及び 必要の都度	1部	第1編1-1-24	出来形管理図表及び 品質管理図表

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	条項	備考
監督職員	施工計画書	着工前及び必要の都度	1部	第1編1-1-5	※1
監督職員	施工体制台帳 施工体系図	下請負契約締結後速やかに	1部	第1編1-1-11	
監督職員	支給品精算書	工事完成時 (完成前に精算可能な場合はその時点)	1部	第1編1-1-17	
監督職員	現場発生品調書	引き渡し時	1部	第1編1-1-18	
監督職員	火薬類使用計画書	着工前及び必要の都度	1部	第1編1-1-28	非火薬品(破砕薬)含む
監督職員	事故報告書	発生時	1部	第1編1-1-30	
監督職員	建設業退職者共済組合掛金収納書(発注者用)	契約(当初・変更・下請)締結後1ヶ月以内	1部	第1編1-1-41	

※1　請負金額1,000万円以上。(ただし、1,000万円未満でも監督職員が必要と認めたとき)

土 木 配 管 工 事 仕 様 書

工 事 仕 様 書

第１章　総　　則 …… 1

第1節　一　般　事　項 …… 2

第2節　適　用　規　格 …… 6

第3節　検 査 及 び 試 験 …… 6

第4節　保　　証 …… 6

第２章　共　通　仕　様 …… 7

第1節　配　水　管　布　設 …… 8

第３章　特　記　仕　様 …… 10

第1節　配　水　管　布　設 …… 11

第１章　総　　則

第１節　一　般　事　項

第２節　適　用　規　格

第３節　検査及び試験

第４節　保　　証

第１章　総　　則

第1節　一 般 事 項

１－１　適用の範囲

本工事は「 土 木 配 管 工 事 」に適用されるもので、工事仕様書，設計書，図面に基づき施工し、本市検査員の行う検査に合格した時までとする。

１－２　施工範囲

本工事の施工範囲は工事仕様書，設計書，図面に記載され、その他必要な一切のものを含むものとする。

１－３　工　　期

本工事の着手は契約締結の翌日とし、竣工期限は令和９年３月３１日とする。

１－４　適用規則

本工事は、本市契約条件，契約規則，工事請負契約書，その他本市の規定に準拠し、工事仕様書，設計書、並びに施工図面に基づき、本市監督員の指示に従い完全に施工しなければならない。

１－５　事業の性質

本工事は、公共事業として行うものであるから、労働基準法，職業安定法，その他関係法令に従って施工しなければならない。

１－６　提出書類及び図書

受注者は、書類及び図書を本市監督員に提出し、承認を得て、工事に着手しなければならない。

１－７　打ち合わせ

工事着手前には、設計内容，工事工程表，その他工事との関連を、本市監督員及び関係者出席のもとに打ち合わせをし、以後、工事中も適時打ち合わせを行う。

１－８　指示及び承認

仕様書，設計書及び図面において、施工上明瞭でない個所、又は、疑義を生じた場合は、本市監督員と受注者との協議により、決定しなければならない。

尚、協議が成立しない場合は、本市監督員の指示に従わなければならない。

１－９　受注者の負担

(1) 軽易な事項で、仕様書，設計書並びに図面に記載されてなくても、施工上欠く事のできない材料，機器類及び作業に要する費用。

(2) 工事施工に当たって、関係監督官庁，その他この手続きを要する時に、これに要する書類を作成して一切を代行する費用。

(3) 軽易な事項で、工事上、障害となる支障物の除去工事によって発生した、不要物件の取り片付けに要する費用。

(4) 工事の為、第三者に与えた損害で、受注者の責に帰すべきものの、賠償に要する費用。
又は、工事施工の為の、既設工作物に与えた損傷の復旧費用。

１－10　官公庁の手続き

工事中は、関係官公署，企業者，その他と十分協調を保ち、工事中の円満な進捗を計らなければならない。

又、工事中上記と交渉を要する時は、本市監督員に連絡し、遅滞なくその指示を受けなければならない。

１－11　工事現場管理

(1) 工事現場には、工事名，工期，工事主体及び工事施工者の住所氏名を標示した、定められた規格の標示板を建てなければならない。

(2) 工事現場が隣接，又は同一場所において、施工する別途工事の競合する場合には、相互に協議して、紛争を起こさないように処理しなければならない。

(3) 工事施工中は、既設工作物に支障を及ぼさないよう、必要な保護手段をこうじなければならない。

もし、既設工作物に損傷を与えるか、又はやむをえず一時除去するなどの必要が生じた場合は、本市監督員の指示に従わなければならない。

(4) 工事現場への一般人及び労務者の出入り、監督，風紀衛生の取り締まり並びに、火災，盗難，その他の事故防止について、受注者は責任をもって十分に管理しなければならない。

(5) 作業員の事故防止の為、保安帽，安全衣を着用し、足場，手すり照明等、施設の整備をしなければならない。

(6) 上記以外の事項でも、適時必要に応じて、本市監督員の指示する現場管路を行わなければならない。

1－12　現場代理人及び労務者の選定

(1) 受注者は、現場代理人１名、及び現場主任技術者１名を定めなければならない。

但し、現場代理人は、現場主任技術者を兼任する事ができる。

(2) 受注者は、労務者を選び秩序正しい作業をなさしめ、又、熟練を要する施工には、相当の経験を有する熟練工を使用しなければならない。

又、受注者は適正なる工事の進捗上、十分な数の労務者を配置しなければならない。

尚、受注者の労務者が本市監督員の指示に従わない時、又は、工事作業者に不適当と認めた時は、交替又は退去を命ずる事がある。

この場合、受注者は直ちに処置しなければならない。

1－13　工事報告書

受注者は、工事工程表，工事日誌，材料受払書，工事写真，労務者点検簿，材質検査表等を添えて、毎日記載すると共に、本市監督員が必要と認めた時は、遅滞なく提出しなければならない。

1－14　寸法の定義

仕様書，設計書，図面に示してある寸法は、全て仕上がり寸法である。

１－15　設計変更

本工事の内容に変更の必要を生じた場合は、本市監督員と協議の上、その事項を決定しなければならない。

但し、受注者の責により生じた、工事の増加に要する費用の増額は、一切認めないものとする。

１－16　材料及び規格

本工事に使用する機械器具類の製造に用いる部分、及び材料は全て後述(第２節適用規格)の規格に準ずるものでなければならない。

１－17　現場発生物

工事施工中に生じた現場発生物の処理は、本市監督員の指示に従わなければならない。

但し、受注者の責により処理できるものに関しては、この限りではない。

１－18　据え付け配置

据え付け配置，配管布設は、仕様書，設計書，図面並びに現場を熟知の上、詳細にこの内容を調査し、疑義を正すと共に、全工事の内容を承知の上施工する。

１－19　工事の中止

受注者が、本市監督員の指示に従わない場合、又は、不正行為のあった時は、その工事を中止させる事ができる。

１－20　現地性能試験

据え付け完了時に、本市監督員の指示により、現地性能試験を行わなければならない。

又、製造工場での試験に合格したと言えども、現地性能試験結果、不合格があった場合の製造品は、本市監督員の指示する期間内に改造、又は、手直し等を終了しなければならない。

１－21　不要材料処分

受注者は、工事が終了したらすみやかに不要材料の処分をし、後片付け，清掃を工事期間内に終了しなければならない。

第２節　適 用 規 格

本工事の施工に際しては、下記に準拠する事。

(1) Ｊ・Ｉ・Ｓ（日本工業規格）

(2) 日本水道協会発行

水道工事標準仕様書

(3) 青森県土整備部発行

土木共通仕様書

第３節　検 査 及 び 試 験

３－１　この工事に使用する機器材料の内、特に指示するものは、制作工事等に於いて本市監督員立ち合いの上、検査及び試験を行い、その試験成績表を提出する事。

３－２　この工事に使用する機器及び主要材料は、現場搬入の都度、本市監督員の検査を受け、これに合格したものを使用する事。

第４節　保　　証

保証期間は、本市監督員が工事完了と見なした日より起算し、日数を算出する。

保証期間内に発生した故障で、製品の不良，施工上のミスに起因した場合、受注者は遅滞なく故障の修理、部品の交換を行わなければならない。

その際、要する費用は、全額受注者の負担とする。

尚、保証期間外、又は、不慮の事故における故障の場合も、受注者は修理作業を遅滞なく行う事。

但し、その費用は有償とする。

第２章　共 通 仕 様

第１節　配 水 管 布 設

第１節　配 水 管 布 設

１－１　一般事項

この工事は、配水管及び送水管に適用する。

１－２　材料の規格

本工事に使用する材料は、日本工業規格（Ｊ・Ｉ・Ｓ）及び日本水道協会規格（Ｊ・Ｗ・Ｗ・Ａ）に適合しなければならない。

但し、規格に無いものについては、本市監督員と協議して決定する。

１－３　据え付け配管

(1) 配管は、仕様書，設計書，図面並びに現場を熟知の上、詳細にこの内容を調査のうえ、本市監督員の承認を得てから施工にかかる。

(2) 配管工事、及び機器の据え付けは全て、本市監督員の指示に従い後日狂いの生じないよう、確実堅固に完全なる施工をしなければならない。

(3) 工事施工に当たり、竣工後検査の困難なる個所は、中間にて本市監督員の検査を受けなければならない。

(4) 運搬、据え付け作業の順序，方法については、あらかじめ計画表を提出し、本市監督員の承認を受ける。

(5) 鋳鉄管の切断は、切断機で行う事を原則とする。

尚、異形管は切断してはならない。

(6) 管の切断は、管に対して直角に行わなければならない。

(7) 既設管との連絡

(a) 連絡工事は断水時間に制約されるので、円滑な作業が出来るよう、十分な作業員を配置し、配管材を確認し、機材，機器を十分準備し、迅速確実に施工しなければならない。

(b) 既設管の切断に先立ち、本市監督員の指示，立ち合いの上、管種及び管の所属を調べ、設計図及び示された既設管である事を確認する事。

(c) 石綿管の切断は、金のこ、又は、切断機で行わなければならない。

(8) 水圧試験

配管完了後、原則として管内に充水し、管路として所定の圧力を保持する水圧試験を行わなければならない。

(9) 通水試験

通水は、管内を十分に清掃するとともに、残存物がない事を確認しなければならない。

(10) 路面復旧

国，県，市の道路管理者の指示による。(図面参照)

(11) 切り廻し工事

給水管横断個所、及び他企業の地下埋設物、その他家庭用排水管等の布設してある個所については、掘削及び管布設に十分注意し施工する事。

この場合、他の埋設物と同位置に送配水管がかかる時は、切り廻し工事等を施し、迷惑のかからぬよう、責任をもって工事を行う事。

第３章　特　記　仕　様

第１節　配　水　管　布　設

第1節　配 水 管 布 設

１－１　一般事項

本工事施工に当たり、現地調査を十分に行い、施工図を市の監督員に提出し、承認を得ること。

１－２　配管材料の規格

名　　称	規　　格
配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	ＪＩＳ－Ｇ－３４５２
同上継ぎ手及び異形管類	ＪＩＳ－Ｂ－２３０４
Ｋ形ダクタイル鋳鉄管	ＪＩＳ－Ｇ－５５２６
同上継ぎ手及び異形管類	ＪＩＳ－Ｇ－５５２７
ＮＳ形ダクタイル鋳鉄管	ＪＤＰＡ－Ｇ－１０４２
同上継ぎ手及び異形管類	ＪＤＰＡ－Ｇ－１０４２
ＧＸ形ダクタイル鋳鉄管	ＪＤＰＡ－Ｇ－１０４９
同上継ぎ手及び異形管類	ＪＤＰＡ－Ｇ－１０４９
水道用硬質塩化ビニール管	ＪＷＷＡ－Ｋ－１２９（ＲＲ－ＨＩ）
〃	ＪＷＷＡ－Ｋ－１２７（ＲＲ）
〃	ＪＩＳ－Ｇ－６７４２（ＴＳ）
同上継ぎ手及び異形管類	ＪＷＷＡ－Ｋ－１３１（ＲＲ－ＦＣＤ）
〃	ＪＷＷＡ－Ｋ－１３０（ＲＲ－ＨＩ）
〃	ＪＷＷＡ－Ｋ－１２８（ＲＲ）
〃	ＪＩＳ－Ｋ－６７４３（ＴＳ）

１－３　配管材料の仕様

（１）ダクタイル鋳鉄管(内面･エポキシ粉体塗装)

適用範囲 ＿＿＿＿　最高使用圧力　0.75MPa

検　　査 ＿＿＿＿　日本水道協会の検査品とする。

表　　示 ＿＿＿＿　(1)Ｄの記号　(6)Ｋ，ＮＳ，ＧＸ型の記号

(2)水の記号　(7)呼び径

(3)１種管及び３種管、Ｓ種管

(4)製造年

(5)製造業者の略号

（２）ダクタイル鋳鉄異形管

適用範囲 ＿＿＿＿　最高使用圧力　0.75MPa

検　　査 ――――　日本水道協会の検査品とする。

表　　示 ――――　ダクタイル鋳鉄管表示に曲管の場合は角度

（３）仕切り弁(ソフトシール仕切り弁)

適用範囲 ――――　最高使用圧力　0.75MPa

材　　質 ――――　弁体　ＦＣＤ45　ＥＰＤＭ

弁棒　ＳＵＳ－403

弁箱、ふた、パッキン箱－ＦＣＤ45

胴体検査 ――――　φ350 以下

フランジ両面間が伸びないように、両端部を固定し、弁を全開した状態で、上記の圧力を加えて、各部に異常があってはならない。

面間寸法 ――――　ＪＩＳ－Ｂ１２０に準ずる。

１－４　管の明示要領

明示方法は次の通りとし、管径 350㎜ 以下は胴体テープのみ、管径 400㎜ 以上については胴巻きテープと天端テープの使用により、識別を明らかにするものとする。施工方法については管に直接明示テープを巻いてから、ポリスリーブを施工する。

（１）明示に使用する材料

(ｲ) 塩化ビニールテープ

(ﾛ) 色地　色～青　文字～白

(ﾊ) テープの形状

φ350 ㎜以下　　テープの厚さ　0.15 ㎜

胴巻きテープの幅　３cm

（２）胴巻きテープの間隔

(ｲ) 管長４ｍ　　３ヵ所／本

(ﾛ) 管長５ｍ　　４ヵ所／本

(ﾊ) 管長６ｍ　　４ヵ所／本

（３）明示方法

明示方法

上水道	上水道	上水道
2026	2026	2026
上水道	上水道	上水道

(ｲ) 文字の大きさ　タテ・ヨコ　８㎜

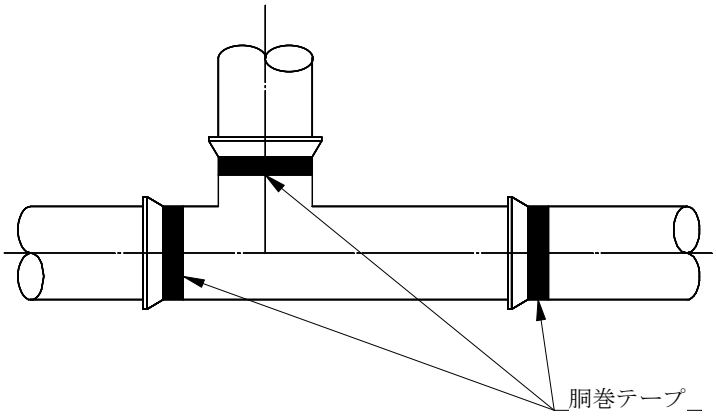
文字間隔　　４㎜程度とする。

(ﾛ) 明示年は３ヵ月ぐらいずれても差し支えない。

(ﾊ) 胴巻きテープは１回半巻きとする。

（４）特殊部

(ｲ) 異形管



(ﾛ) 弁類は表面があり、これに表示されているので他の埋設管と区別が容易であり表示の必要は無い。

１－５　硬質塩化ビニール管

（１）ビニール管~~の規格~~

適用範囲 ――― 水圧試験～常温で 0.75MPa の水圧をかけ、１分間保つこと。

検　　査 ――― 日本水道協会の検査品とする。

表　　示　　１）Ｄの記号(口径)

２）製造年の表示

３）製造業者の略号

４）その他

（２）塩化ビニール管継ぎ手

(1) ビニール管の規格に準ずる。

（３）その他

給水工事に使用するその他資材については、市の基準による。(材料の規格、指定メーカー，施工方法等)

（４）ビニール管の形状について

硬質塩化ビニール管で定尺(１本 4.0m，5.0m)ものを使用する。

配水管耐震化（新屋１工区）工事

参　考　資　料

青森県　平川市　新屋　地内

注）工事価格の円滑な見積りに資する資料であり、工事請負契約を拘束するものではない

総 括 情 報 表

事務所名		
設計書区分/番号		
変更回数		
事業名		
適用単価区分		
適用単価地区	015 平川市1 (02 青森県)	
単価適用日	2026-11-01	
諸経費体系		
設計書名		
	当世代	前世代
前払率		
工事種類	水道工事(水道実務必携基準)	
工種区分	開削工事及び小口径推進工事等	
施工地域・工事場所区分	一般交通等の影響あり②	
現場環境改善費補正	それ以外	
一般管理費補正(契約保証)	金銭的保証を必要	
緊急工事区分による補正	補正なし	
豪雪補正	する	

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水道施設工事	1	式			
配水管布設工	1	式			
管材費	1	式			
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管 内面ｴﾎﾟｷｼ GX形 S種 外面標準 径400mm×長6m 461kg	30	本			建2026年4月285頁 積2026年4月421頁 管:
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 1種(軟質) 呼び径20mm 0.269kg/m	3.4	m			建2026年4月686頁 積2026年4月833頁 管:
水道用ｻﾄﾞﾙ付分水栓 A形 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管 400×20	1	個			管:
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手 ｿｹｯﾄ 径20	1	個			建2026年4月686頁 積2026年4月834頁 管:
密着コア φ20	1	個			管:
材料費	1	式			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工(材料のみ) 呼び径400mm 固定ﾊﾞﾝﾄﾞ	180	m			代価第1号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
埋設標示アルタンシート 150幅 2倍折込み付き	180	m			
管明示テープ W＝3cm φ400	544.7	m			
労務費	1	式			
鋳鉄管吊込み据付工(機械力) 呼び径400mm	180	m			代価第2号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節-51頁
GX形継手接合工 直管 呼び径400mm	30	口			代価第3号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工(手間のみ) 呼び径400mm	180	m			代価第4号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
管明示ｼｰﾄ工	180	m			代価第5号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
管明示ﾃｰﾌﾟ工 呼び径・寸法φ400×6000mm 天端明示有	544.7	m			代価第6号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工 呼び径20mm	3.4	m			代価第7号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第6節-84頁
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工 呼び径20mm	1	口			代価第8号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節-95頁
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込み工 鋳鉄管 配水管呼び径400mm 取り出し径20mm	1	箇所			代価第9号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第4節-190頁
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工 管径13～50mm	2	口			代価第10号
ｺｱ取付工 呼び径20mm	1	箇所			代価第11号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第4節-190頁
撤去管吊上げ積込み 鋳鉄管 機械力 呼び径400mm	186.8	m			代価第12号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節
既設管撤去切断工(ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管(FCD)) ﾊﾟｲﾌﾟ切削切断機使用 呼び径400mm	31	口			代価第13号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節
鋳鉄管継手取外し工(K形) 呼び径400mm 特殊押輪使用しない	31	口			代価第14号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節
現場発生品及び支給品運搬 ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称4～4.5t積級, 吊能力2.9t,無し,11.0km以下	13.4	t			施工第1号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅰ-2-③-5

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ ヘビー H２	13.4	t			
管帽栓撤去 呼び径400mm JWWA7.5K(F12)	1	箇所			代価第15号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節-105頁
交通誘導警備員B	158	人			
土工費	1	式			
掘削 土砂,現場制約あり,-,-,-,-,-,-,-	77	m3			施工第2号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-1-②-31
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込工 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	530	m3			代価第16号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
管路埋戻工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾎｳ)(埋戻しのみ) ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 路盤用ﾛｽ率：0.26	99.6	m3			代価第17号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾎｳ) ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土	315	m3			代価第18号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
土砂等運搬	258	m3			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
残土処分	258	m3			処:
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工) 掘削深2.0m以下 たて込み ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	342	m			代価第19号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工) 掘削深2.5m以下 たて込み ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	28.7	m			代価第20号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工) 掘削深3.0m以下 たて込み ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	6.7	m			代価第21号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
軽量金属製支保材設置・撤去 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 1段(2.0m以下)	342	m			代価第22号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
軽量金属製支保材設置・撤去 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 2段(3.5m以下)	35.4	m			代価第23号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
構造物とりこわし(週休2日(月単位)) 無筋構造物 人力施工 昼間施工 時間的制約…なし	1.4	m3			代価第24号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅵ-1-④-4
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,8.0km以下	1.4	m3			施工第3号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-25-7
殻処分 無筋Co殻	3.4	t			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路復旧費	1	式			
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,-,-	791	m			施工第4号
舗装版直接掘削積込工(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 舗装厚0cm超え10cm以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	970	m2			代価第25号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊・ｺﾝｸﾘｰﾄ塊(無筋)運搬工 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 10.0km以下 ﾀｲﾔ良好	41.1	m3			代価第26号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
殻処分 As殻	96.5	t			処:
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込工 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.5	m3			代価第16号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
土砂等運搬	7.5	m3			
残土処分	7.5	m3			処:
不陸整正工(施工幅1.8m未満) 補足材なし	597	m2			代価第27号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾎｳ) ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 路盤用ﾛｽ率：0.26	45	m3			代価第28号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
路盤工(施工幅1.8m未満) 2層仕上げ 仕上り厚30cm 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	374	m2			代価第29号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
路盤工(施工幅1.8m未満) 1層仕上げ 仕上り厚12cm ｸﾗｯｼｬﾗﾝ C-20	374	m2			代価第30号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
舗装工 仮復旧 車道及び路肩 仕上り厚3cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 砂散布なし 再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物((2)再生密粒度As(13))	374	m2			代価第31号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
舗装工(人力施工) 車道及び路肩 仕上り厚5cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 砂散布なし 再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物((5)再生密粒度As(20F))	597	m2			代価第32号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
【 直接工事費計 】					
共通仮設費率額	1	式			
現場環境改善費	1	式			
共通仮設費積上額	1	式			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費	1	式			内訳第1号
【 共通仮設費計 】					
【 純工事費 】					
現場管理費率額	1	式			
【 現場管理費計 】					
【 工事原価 】					
一般管理費率額	1	式			
【 一般管理費計 】					
【 工事価格 】					

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 消費税等相当額 】					
【 工事費計 】					

施工内訳表

式

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 試験距離：180m	180	m			代価第33号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第5章-第1節
【 合計 】	1	式			

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工(材料のみ)
呼び径400mm　固定ﾊﾞﾝﾄﾞ

施工代価表

代価第1号　　頁0013

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節　　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ 固定用ゴムバンド含む φ400	116.667	m			(7*(1+0))/6*100
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

鋳鉄管吊込み据付工(機械力)
呼び径400mm

施工代価表

代価第2号　　頁0014

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節-51頁　　10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.21	人			
普通作業員	0.31	人			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 4.9t吊	0.29	日			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

GX形継手接合工
直管 呼び径400mm

施工代価表

代価第3号　　頁0015

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節　　1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.1	人			
普通作業員	0.1	人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工(手間のみ)
呼び径400mm

施工代価表

代価第4号　　頁0016

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節　　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.75	人			
普通作業員	0.75	人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.4	人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

管明示ﾃｰﾌﾟ工
呼び径・寸法φ400×6000mm 天端明示有

施工代価表

代価第6号　　頁0018

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節　　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.17	人			0.13+0.04
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工
呼び径20mm

施工代価表

代価第7号　　頁0019

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第6節-84頁　　10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.12	人			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工
呼び径20mm

施工代価表

代価第8号　　頁0020

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節-95頁　　1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.01	人			
普通作業員	0.01	人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

サドル分水栓建込み工
鋳鉄管 配水管呼び径400mm 取り出し径20mm

施工代価表

代価第9号　　頁0021

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第4節-190頁　　1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.1	人			
普通作業員	0.1	人			
諸雑費	1	式			労務費の12%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工
管径13～50mm

施工代価表

代価第10号　　頁0022

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.05	人			
諸雑費	1	式			労務費の3%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第4節-190頁　　1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.03	人			
普通作業員	0.03	人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

撤去管吊上げ積込み
鋳鉄管 機械力 呼び径400mm

施工代価表

代価第12号　　頁0024

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節　　10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.126	人			0.21*0.6
普通作業員	0.186	人			0.31*0.6
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 4.9t吊	0.174	日			0.29*0.6
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

既設管撤去切断工(ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管(FCD))
ﾊﾟｲﾌﾟ切削切断機使用 呼び径400mm

施工代価表

代価第13号　　頁0025

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節　　1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.129	人			0.28*0.46
普通作業員	0.455	人			0.99*0.46
諸雑費	1	式			労務費の5%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

鋳鉄管継手取外し工(K形)
呼び径400mm 特殊押輪使用しない

施工代価表

代価第14号　　頁0026

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節　　1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.06	人			0.1*1*0.6
普通作業員	0.06	人			0.1*1*0.6
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

管帽栓撤去
呼び径400mm JWWA7.5K(F12)

施工代価表

代価第15号　　頁0027

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節-105頁　　1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.072	人			0.12*0.6
普通作業員	0.072	人			0.12*0.6
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.9	人			
普通作業員	5	人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	11.1	h			代価第5000号
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾎｳ)(埋戻しのみ)
ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 路盤用ﾛｽ率：0.26

施工代価表

代価第17号　　頁0029

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　　100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			埋め戻し
普通作業員	3.8	人			埋め戻し
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.6	h			代価第5000号 投入
砂 路盤用	126	m3			ﾛｽ率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			埋め戻し
普通作業員	3.8	人			埋め戻し
普通作業員	3	人			ﾀﾝﾊﾟ締固め
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.6	h			代価第5000号 投入
ﾀﾝﾊﾟ運転	3	日			代価第5001号 ﾀﾝﾊﾟ締固め
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深2.0m以下 たて込み ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]　引抜きﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.9	人			2.0+0.9
特殊作業員	2.9	人			2.0+0.9
普通作業員	8.7	人			6.0+2.7
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	11.6	h			代価第5000号 たて込み
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	6.2	h			代価第5002号 引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深2.5m以下 たて込み ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]　引抜きﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.3	人			2.4+0.9
特殊作業員	3.3	人			2.4+0.9
普通作業員	9.9	人			7.2+2.7
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	12.5	h			代価第5000号 たて込み
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	6.5	h			代価第5002号 引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深3.0m以下 たて込み ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]　引抜きﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.8	人			2.8+1.0
特殊作業員	3.8	人			2.8+1.0
普通作業員	11.4	人			8.4+3.0
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	13.4	h			代価第5000号 たて込み
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]	6.9	h			代価第5002号 引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量金属製支保材設置・撤去
水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 1段(2.0m以下)

施工代価表

代価第22号　　頁0034

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節　　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.1	人			0.4+0.2+0.3+0.2
特殊作業員	1.1	人			0.4+0.2+0.3+0.2
普通作業員	3.3	人			1.2+0.6+0.9+0.6
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量金属製支保材設置・撤去
水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 2段(3.5m以下)

施工代価表

代価第23号　　頁0035

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節　　100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.2	人			0.8+0.4+0.6+0.4
特殊作業員	2.2	人			0.8+0.4+0.6+0.4
普通作業員	6.6	人			2.4+1.2+1.8+1.2
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

構造物とりこわし(週休2日(月単位))
無筋構造物 人力施工 昼間施工 時間的制約…なし

施工代価表

代価第24号　　頁0036

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】VI-1-④-4　　1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工 昼間施工 ［手間のみ］ 無筋構造物 人力施工 時間的制約なし K1=1	1	m3			(36120*1.02)*1
【 合計 】	1	m3			
【 単位当り 】	1	m3			
無筋構造物 人力施工					
昼間施工 時間的制約…なし					
週休2日(現場閉所(月単位(R7)))					
機○　労○　材／					

舗装版直接掘削積込工(ﾊﾞｯｸﾎｳ)
舗装厚0cm超え10cm以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第25号　　頁0037

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　　100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.42	人			
普通作業員	0.63	人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	3.35	h			代価第5003号
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工
ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし
10.0km以下 タイヤ良好

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転	1.04	日			代価第5004号 0.8*(1+0.3)
【 合計 】	10	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

不陸整正工(施工幅1.8m未満)
補足材なし

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.52	人			
ﾀﾝﾊﾟ運転	0.46	日			代価第5005号
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

管路埋戻・締固め工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾎｳ)
ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 路盤用ﾛｽ率：0.26

施工代価表

代価第28号　　頁0040

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　　100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			埋め戻し
普通作業員	3.8	人			埋め戻し
普通作業員	3	人			ﾀﾝﾊﾟ締固め
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.6	h			代価第5000号 投入
ﾀﾝﾊﾟ運転	3	日			代価第5001号 ﾀﾝﾊﾟ締固め
砂 路盤用	126	m3			ﾛｽ率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

路盤工(施工幅1.8m未満)
2層仕上げ 仕上り厚30cm 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40

施工代価表

代価第29号　　頁0041

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　　100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	1.56	人			0.78*2
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	38.1	m3			100*(30/100)*(1+0.27)
ﾀﾝﾊﾟ 運転	0.9	日			代価第5005号 0.45*2
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
1層仕上げ 仕上り厚12cm ｸﾗｯｼｬﾗﾝ C-20

施工代価表

代価第30号　　頁0042

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　　100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.78	人			0.78*1
ｸﾗｯｼｬﾗﾝ C-20	15.24	m3			100*(12/100)*(1+0.27)
ﾀﾝﾊﾟ 運転	0.45	日			代価第5005号 0.45*1
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

舗装工　仮復旧

車道及び路肩 仕上り厚3cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 砂散布なし 再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物((2)再生密粒度As(13))

施工代価表

代価第31号　　頁0043

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　　100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.4	人			1*100/250
特殊作業員	0.8	人			2*100/250
普通作業員	1.6	人			4*100/250
再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (2)再生密粒度As(13)	7.544	t			100*(3/100)*2.35*(1+0.07)
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	126	L			
振動ﾛｰﾗ運転	0.4	日			代価第5006号 1*100/250
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ運転	0.8	日			代価第5007号 2*100/250
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする
【 合計 】	100	m2			

舗装工　仮復旧

車道及び路肩 仕上り厚3cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 砂散布なし 再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物((2)再生密粒度As(13))

施工代価表

代価第31号　　頁0044

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節　　100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 単位当り 】	1	m2			

舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚5cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 砂散布なし 再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物((5)再生密粒度As(20F))

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.4	人			1*100/250
特殊作業員	0.8	人			2*100/250
普通作業員	1.6	人			4*100/250
再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (5)再生密粒度As(20F)	12.573	t			100*(5/100)*2.35*(1+0.07)
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	126	L			
振動ﾛｰﾗ運転	0.4	日			代価第5008号 1*100/250
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ運転	0.8	日			代価第5009号 2*100/250
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする
【 合計 】	100	m2			

舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚5cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 砂散布なし 再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物((5)再生密粒度As(20F))

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 単位当り 】	1	m2			

通水試験工
試験距離：180m

施工代価表

代価第33号　　頁0047

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第5章-第1節　　120 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 給水車：不要	0.24	日			代価第5010号 120/500(最小値)
【 合計 】	120	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

1 h 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	0.16	人			
軽油	5.9	L			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排対型(2次基準)] 標準ﾊﾞｹｯﾄ容量(山積0.28/平積0.2m3)	1	h			令和7年度版建設機械等損料表02-9
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	h			
【 単位当り 】	1	h			

施工代価表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	5	L			
ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60～80kg	1.38	日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

施工代価表

1 h 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	0.16	人			
軽油	5.9	L			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排対型(2次基準)] 標準ﾊﾞｹｯﾄ容量(山積0.28/平積0.2m3)	1	h			令和7年度版建設機械等損料表02-9
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	h			
【 単位当り 】	1	h			

施工代価表

1 h 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	0.16	人			指定事項
軽油	5.9	L			指定事項
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排対型(2次基準)] 標準ﾊﾞｹｯﾄ容量(山積0.28/平積0.2m3)	1	h			令和7年度版建設機械等損料表02-9 指定事項
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	h			
【 単位当り 】	1	h			

施工代価表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(一般)	1	人			指定事項
軽油	32	L			指定事項
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 4t積級	1.29	供用日			令和7年度版建設機械等損料表03-1 指定事項
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸﾀｲﾔ損耗費 良好 4t積	1.29	供用日			指定事項
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

施工代価表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			指定事項
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	4	L			指定事項
ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60～80kg	1.61	日			指定事項
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

施工代価表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			指定事項
軽油	3	L			指定事項
振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 運転質量0.5～0.6t	1.23	供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-3 指定事項
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

施工代価表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			指定事項
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	5	L			指定事項
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ[前進型] 機械質量40～60kg	1.4	供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-7 指定事項
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

施工代価表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			指定事項
軽油	3	L			指定事項
振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 運転質量0.5～0.6t	1.23	供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-3 指定事項
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

施工代価表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			指定事項
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	5	L			指定事項
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ[前進型] 機械質量40～60kg	1.4	供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-7 指定事項
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

通水試験工
給水車：不要

施工代価表

代価第5010号　　頁0058

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	3	人			
普通作業員	3	人			
器具損料及び諸雑費	1	式			労務費の20%を上限とする
【 合計 】	1	日			
【 単位当り 】	1	日			

現場発生品及び支給品運搬
ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称4～4.5t積級，吊能力2.9t,無し,11.0km以下

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅰ-2-③-5　積算単位：t

区分	代表機労材規格	構成比	単価	補正式	備考
青森(K)	機械	16.52			
東京					
青森(K1)	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付] ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積吊能力2.9t	16.52			令和7年度版建設機械等損料表03-3
東京					
青森(R)	労務	79.59			
東京					
青森(R1)	運転手(特殊)	40.2			
東京					
青森(R2)	特殊作業員	39.39			
東京					
青森(Z)	材料	3.89			
東京					
青森(Z1)	軽油	3.89			
東京					
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：015 平川市1 (02 青森県)／2026-11-01)				
	標準単価				

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-1-②-31 積算単位：m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
青森(K)	機械	0			
東京					
青森(R)	労務	100			
東京					
青森(R1)	普通作業員	100			
東京					
青森(Z)	材料	0			
東京					
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：015 平川市1 (02 青森県)／2026-11-01)				
	標準単価				

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-25-7　積算単位：m3

区分	代　表　機　労　材　規　格	構成比	単 価	補正式	備　　考
青森(K)	機械	39.03			
東京					
青森(K1)	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] (ﾀｲﾔ損耗費及び補修費 (良好) 含む)　10t積級	39.03			
東京					
青森(R)	労務	46.18			
東京					
青森(R1)	運転手(一般)	46.18			
東京					
青森(Z)	材料	14.79			
東京					
青森(Z1)	軽油	14.79			
東京					
	***　単位当り　***				
	積算単価 (地区：015 平川市1 (02 青森県)／2026-11-01)				
	標準単価				

舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,-,-

施工パッケージ

施工第4号　　頁0062

積算単位：m

区分	代　表　機　労　材　規　格	構成比	単 価	補正式	備　　考
青森(K)	機械	15.05			
東京					
青森(K1)	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ[ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径φ56cm	10.24			令和7年度版建設機械等損料表11-9
東京					
青森(R)	労務	58.43			
東京					
青森(R1)	特殊作業員	19.96			
東京					
青森(R2)	土木一般世話役	10.88			
東京					
青森(R3)	普通作業員	8.92			
東京					
青森(Z)	材料	26.52			
東京					
青森(Z1)	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径18ｲﾝﾁ	22.39			
東京					
青森(Z2)	ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	2.81			
東京					

施工パッケージ

積算単位：m

区分	代　表　機　労　材　規　格	構成比	単 価	補正式	備　　考
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：015 平川市1 (02 青森県)／2026-11-01)				
	標準単価				

単価調書

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【労務費】					
交通誘導警備員B	158	人			
土木一般世話役	48.248	人			
普通作業員	165.247	人			
普通作業員	25.672	人			
特殊作業員	3.852	人			
特殊作業員	74.315	人			
運転手(一般)	4.315	人			
運転手(特殊)	32.224	人			

単価調書

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.1	人			
【損料・賃料】					
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ[ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径φ56cm	6.486	供用日			令和7年度版建設機械等損料表11-9
ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60～80kg	27.454	日			
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 4t積級	5.514	供用日			令和7年度版建設機械等損料表03-1
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ]（ﾀｲﾔ損耗費及び補修費（良好）含む） 10t積級	0.042	供用日			
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸﾀｲﾔ損耗費 良好 4t積	5.514	供用日			
ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付] ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積吊能力2.9t	1.302	供用日			令和7年度版建設機械等損料表03-3
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 4.9t吊	8.47	日			

単価調書

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･排対型(2次基準)] 標準ﾊﾞｹｯﾄ容量(山積0.28/平積0.2m3)	194.776	h			令和7年度版建設機械等損料表02-9
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ[前進型] 機械質量40～60kg	10.875	供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-7
振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 運転質量0.5～0.6t	4.777	供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-3
【材料費】					
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	752.22	L			
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	471.24	L			
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	206.609	L			
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	23.88	L			
ｸﾗｯｼｬﾗﾝ C-20	56.998	m3			

単価調書

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径18ｲﾝﾁ	1.978	枚			
スクラップ ヘビー H2	13.4	t			
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ 固定用ゴムバンド含む φ400	210.001	m			
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	142.494	m3			
再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (2)再生密粒度As(13)	28.215	t			
再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (5)再生密粒度As(20F)	75.061	t			
土砂等運搬	265.5	m3			
殻処分 無筋Co殻	3.4	t			
砂 路盤用	182.196	m3			

単価調書

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管明示テープ W＝3cm φ400	544.7	m			
軽油	28.285	L			
軽油	1,290.448	L			
軽油	2.232	L			
【市場単価他】					
埋設標示アルタンシート 150幅 2倍折込み付き	180	m			
構造物とりこわし工 昼間施工 ［手間のみ］ 無筋構造物 人力施工 時間的制約なし K1=1	1.4	m3			
【処分費】					
残土処分	265.5	m3			処:

単価調書

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻処分 As殻	96.5	t			処:
【管材費】					
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管 内面ｴﾎﾟｷｼ GX形 S種 外面標準 径400mm×長6m 461kg	30	本			建2026年4月285頁 積2026年4月421頁 管:
密着コア φ20	1	個			管:
水道用ｻﾄﾞﾙ付分水栓 A形 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管 400×20	1	個			管:
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 1種(軟質) 呼び径20mm 0.269kg/m	3.4	m			建2026年4月686頁 積2026年4月833頁 管:
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手 ｿｹｯﾄ 径20	1	個			建2026年4月686頁 積2026年4月834頁 管:

§1. 数量総括表

配水管φ400 数量計算書－ 1

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
配 水 管 資 材					
	ダクタイル鋳鉄管 GX形S種	内面エポキシ粉体塗装 φ400×6.00	本	30	
その他資材					
	ポリスリーブ	ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ含む φ400	m	180.0	
	埋設表示シート	アルミ製 W150	m	180.0	
	管明示テープ	φ400 水道用	m	544.7	
配 水 管 労 務					
	鋳鉄管吊込据付工	φ400 機械施工	m	180.0	
	GX継手工(直管)	φ400	口	30	
	ポリエチレンスリーブ被覆工	固定ﾊﾞﾝﾄﾞ φ400	m	180.0	
	埋設表示シート工		m	180.0	
	管明示テープ工	φ400	m	544.7	
	交通誘導警備員B	60+84+14	人	158.0	

配水管φ400 数量計算書－ 2

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
給 水 管 資 材					
	ポリエチレン管	φ20	m	3.4	
	サドル付分水栓	DIP用 φ400×φ20	個	1	
	ポリ用ソケット	φ20	個	1	
	密着コア	φ20	個	1	
給 水 管 労 務					
	ポリエチレン管据付工	φ20	m	3.4	
	ポリエチレン管切断工	φ20	口	1	
	分水栓建込工	DIF φ400×φ20	箇所	1	
	ポリエチレン管継手工	φ20	口	2	
	密着コア挿入	φ20	箇所	1	

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
既設管撤去労務					
	既設鋳鉄管撤去工	φ400 機械施工	m	186.8	
	既設鋳鉄管切断工	φ400	口	31	
	メカニカル継手取外し工	φ400	口	31	
	スクラップ運搬	既設管	t	13.4	
	スクラップ	既設管	t	13.4	
	管帽栓撤去工	既設管	箇所	1	

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
配 水 管 土 工					
	人力掘削		m3	77	
	管路掘削	(BH0.28)	m3	530	
	砂埋戻工	(BH0.28)	m3	99.6	
	路盤用砂		m3	120	
	発生土埋戻工	(BH0.28)	m3	315	
	残土処理工	(BH0.28+DT4)	m3	258	
	土留工	軽量鋼矢板 H=2.0m	m	342	
	土留工	軽量鋼矢板 H=2.5m	m	28.7	
	土留工	軽量鋼矢板 H=3.0m	m	6.7	
	土留工	支保工1段	m	342	
	土留工	支保工2段	m	35.4	
	防護コンクリート撤去		m3	1.4	
	Co塊殻運搬工		m3	1.4	
	Co殻処分工		t	3.4	

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
配 水 管 舗 装					
	舗装版切断工	As(t≦15)	m	791	
	舗装版取壊し工	As(t≦10) BH0.28	m2	970	
	As塊殻運搬工	(BH0.28+DT4)	m3	41.1	
	As殻処分工		t	96.5	
	管路掘削	(BH0.28)	m3	7.5	
	残土処理工	(BH0.28+DT4)	m3	7.5	
	不陸正整工		m2	597	
	凍上抑制層	路盤用砂 t=12cm	m3	45	本復旧工
	路盤用砂		m3	54	
	下層路盤工	RC-40 t=30cm	m2	374	
	上層路盤工	C-20 t=12cm	m2	374	
	表層工	再生②13 t=3cm	m2	374	仮復旧工
	表層工	機械舗設 再生密As20F t=5cm	m2	597	本復旧工

§2. 配水管工

配水管φ400　数量総括表－1

種別・細別	規格	計 算 式						数量	単位
資　材		本線							
ダクタイル鋳鉄管 GX形S種	内面エポキシ粉体塗装 φ400×6.00	30						30	本
その他資材		本線							
ポリスリーブ	ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ含む φ400	180.0						180.0	m
埋設表示シート	アルミ製 W150	180.0						180.0	m
管明示テープ	φ400　水道用	544.7						544.7	m
労　務		本線							
鋳鉄管吊込据付工	φ400　機械施工	180.0						180.0	m
GX継手工(直管)	φ400	30						30	口
ポリエチレンスリーブ被覆工	固定ﾊﾞﾝﾄﾞ φ400	180.0						180.0	m
埋設表示シート工		180.0						180.0	m
管明示テープ工	φ400	544.7						544.7	m
交通誘導警備員B		158						158	人

配水管φ400　数量総括表－2

種別・細別	規格	計　算　式						数量	単位
資　材		給水管							
ポリエチレン管	φ20	3.40						3.4	m
サドル付分水栓	DIP用 φ400×φ20	1						1	個
ポリ用ソケット	φ20	1						1	個
密着コア	φ20	1						1	個
労　務		給水管							
ポリエチレン管据付工	φ20	3.40						3.4	m
ポリエチレン管切断工	φ20	1						1	口
分水栓建込工	DIP用 φ400×φ20	1						1	箇所
ポリエチレン管継手工	φ20	2						2	口
密着コア挿入	φ20	1						1	箇所

配水管φ400　数量総括表－3

種別・細別	規格	計　算　式						数量	単位
		既設管撤去工							
既設鋳鉄管撤去工	φ400　機械施工	186.8						186.8	m
既設鋳鉄管切断工	φ400	31						31	口
メカニカル継手取外し工	φ400	31						31	口
スクラップ運搬	既設管	13.4						13.4	t
スクラップ	既設管	13.4						13.4	t
管帽栓撤去工	既設管	1						1	箇所

配水管φ400(本線)　　数量計算書－1

種別・細別	規格	計 算 式	数量	単位
資　材				
ダクタイル鋳鉄管 GX形S種	内面エポキシ粉体塗装 φ400×6.00	30　＝　30	30	本
その他資材				
ポリスリーブ	ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ含 φ400	180.000　＝ 180.00	180.0	m
埋設表示シート	アルミ製 W150	180.000　＝ 180.00	180.0	m
管明示テープ	φ400 水道用	180.000 × 0.43 × π × 1.50 ＋ 180.000　＝ 544.74	544.7	m
労　務				
鋳鉄管吊込据付工	φ400 機械施工	180.000　＝ 180.00	180.0	m
GX継手工(直管)	φ400	30　＝　30	30	口
ポリエチレンスリーブ被覆工	固定ﾊﾞﾝﾄﾞ φ400	180.00　＝ 180.00	180.0	m
埋設表示シート工		180.00　＝ 180.00	180.0	m
管明示テープ工	φ400	544.74　＝ 544.74	544.7	m
交通誘導警備員B		＝ 158.00	158	人

給水管φ20　　数量計算書－1

種別・細別	規格	計 算 式	数量	単位
資　材				
ポリエチレン管	φ20	3.40 ＝ 3.40	3.4	m
サドル付分水栓	DIP用 φ400×φ20	1 ＝ 1	1	個
ポリ用ソケット	φ20	1 ＝ 1	1	個
密着コア	φ20	1 ＝ 1	1	個
労　務				
ポリエチレン管据付工	φ20	3.40 ＝ 3.40	3.4	m
ポリエチレン管切断工	φ20	1 ＝ 1	1	口
分水栓建込工	DIP用 φ400×φ20	1 ＝ 1	1	口
ポリエチレン管継手工	φ20	1 × 2 ＝ 2	2	口
密着コア挿入	φ20	1 ＝ 1	1	箇所

既設管撤去工φ400　　数量計算書－1

種別・細別	規格	計 算 式	数量	単位
労　務				
既設鋳鉄管撤去工	φ400 機械施工	186.77 ＝ 186.77	186.8	m
既設鋳鉄管切断工	φ400	186.77 ÷ 6.00 ＝ 31	31	口
メカニカル継手取外し工	φ400	31 ＝ 31	31	口
スクラップ運搬	既設管	186.77 ÷ 6.00 × 0.429 t/本 ＝ 13.35	13.4	t
スクラップ	既設管	＝ 13.35	13.4	t
管帽栓撤去工	既設管	1 ＝ 1	1	箇所

§3. 土　工

配水管土工数量集計表　　本線、給水接続、既設管撤去工 φ400mm

		配水管	給水管接続工	既設管撤去工	不断水仕切弁撤去	既設接続管撤去1	既設接続管撤去2	既設接続管撤去3			小　計	
		土工断面①-1	土工断面③	撤去土工断面④	撤去土工断面④	撤去土工断面④	撤去土工断面④	撤去土工断面④				
		DP=1.20	DP=1.20	DP=1.20	DP=1.20	DP=1.20	DP=1.894	DP=2.235				
		DIP φ400	PP φ20	DIP φ400	DIP φ400	DIP φ400	DIP φ400	DIP φ400				
延　　長	m	180.00	2.400	184.420		1.120	1.645	4.954			374.539	m
人力掘削	m^3			71.0	3.1	0.4	0.6	1.9			77.0	m3
管路掘削 (BH0.28)	m^3	314.4	1.8	193.6	6.1	1.2	2.9	10.3			530.3	m3
砂埋戻工 (BH0.28)	m^3	99.3	0.3								99.6	m3
路盤用砂	m^3	119.1	0.4								119.5	m3
発生土埋戻工 (BH0.28)	m^3	95.4	0.8	195.5	8.5	1.2	2.9	10.4			314.7	m3
残土処理工 (BH0.28+DT4)	m^3	208.5	1.0	47.6	-0.3	0.3	0.3	0.7			258.1	m3
土留工 軽量鋼矢板 H=2.0m	m	156.0		184.4		1.1					341.5	m
土留工 軽量鋼矢板 H=2.5m	m	24.0			4.7						28.7	m
土留工 軽量鋼矢板 H=3.0m	m						1.7	5.0			6.7	m
土留工 支保工1段	m	156.0		184.4		1.1					341.5	m
土留工 支保工2段	m	24.0			4.7		1.7	5.0			35.4	m
防護コンクリート撤去	m^3				1.4						1.4	m3
Co塊 Co殻運搬	m^3				1.4						1.4	m3
Co殻処分	t				3.4						3.4	t

土工・土留工内訳　　配水管 本線　　DIP-GX　　φ400

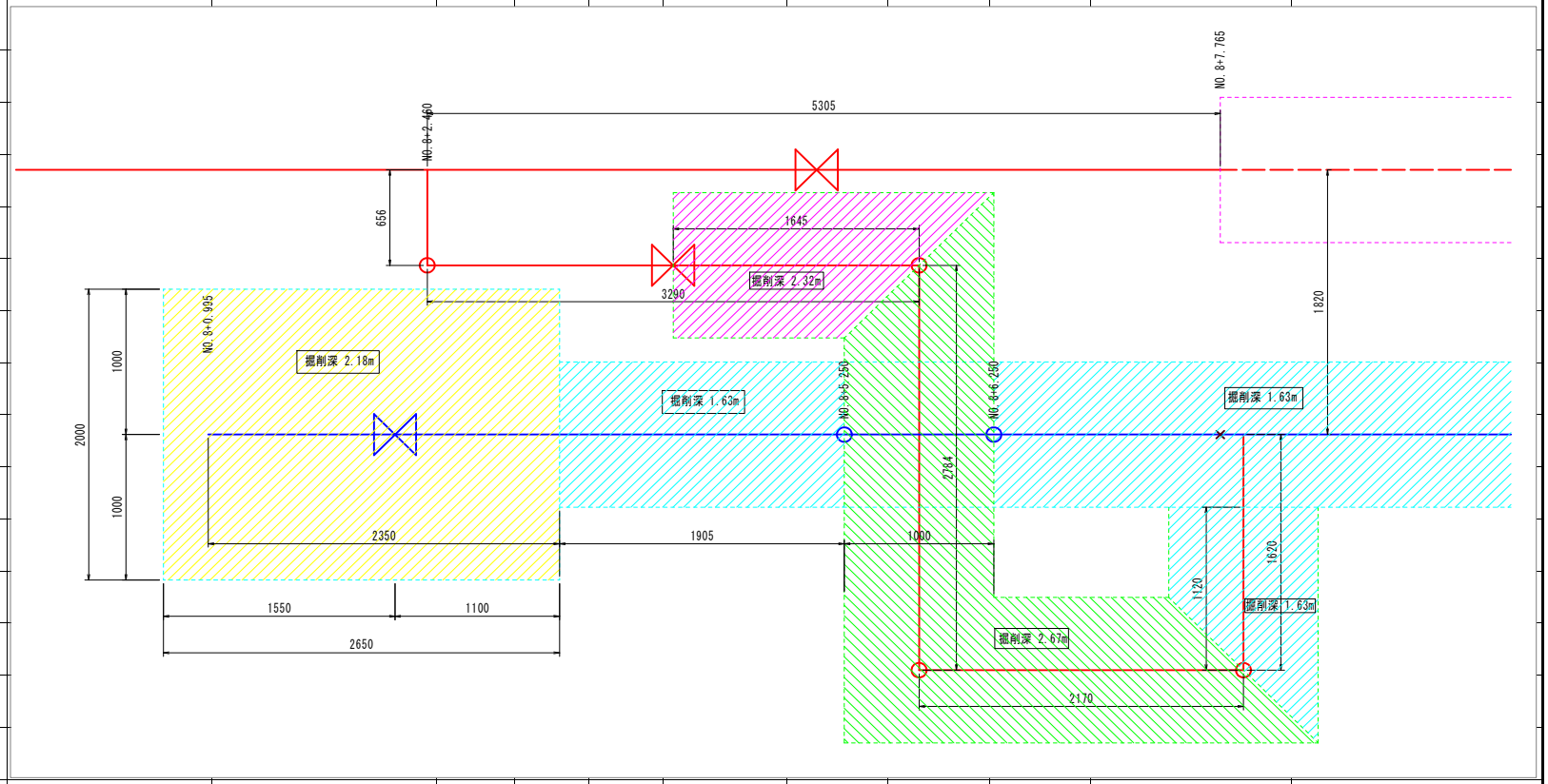
No.	路線名	位置 (測点)	管種	口径 (mm)	外径 (mm)	掘削延長 (m)	土被り DP(m)	掘削深 (m)	掘削幅 (m)	断面 ﾊﾟﾀｰﾝ	摘 要
	本線	No. 8 ＋ 7.765									
		No. 17 ＋ 7.765	DIP	400	530	180.000	1.200	1.730	1.000	土工断面①-1	管下砂基礎設置のため、外径430mm+砂基礎100mmを外径として計上。
		延長合計				180.000					
		土被り1.2m合計	DIP	400	530	180.000	1.200	1.730	1.000	土工断面①-1	
	給水管接続工	＋ 0.000									
		＋ 1.130	PP	20	30	1.130	1.200	1.330	0.600	土工断面③	
		＋ 2.130	PP	20	30	1.000					既設管撤去土工で計上
		＋ 3.400	PP	20	30	1.270	1.200	1.330	0.600	土工断面③	
		延長合計				2.400	1.200	1.300	0.600	土工断面③	

土工・土留工内訳　　既設管撤去工　　DIP-GX　　φ400

No.	路線名	位置 (測点)	管種	口径 (mm)	外径 (mm)	掘削延長 (m)	土被り DP(m)	掘削深 (m)	掘削幅 (m)	断面 ﾊﾟﾀｰﾝ	摘 要
	既設管撤去工	No. 8 ＋ 3.345									
		No. 8 ＋ 5.250	DIP	400	430	1.905	1.200	1.630	1.000	撤去土工断面④	
		No. 8 ＋ 6.250	DIP	400	430	1.000					既設接続管撤去土工で計上
		No. 17 ＋ 7.765	DIP	400	430	181.515	1.200	1.630	1.000	撤去土工断面④	
		不断水仕切弁	DIP	400	430		1.200			撤去土工断面④	
		延長合計	DIP	400	430	184.420	1.200	1.630	1.000	撤去土工断面④	
	既設接続管撤去	＋ 2.301									
		＋ 3.946	DIP	400	430	1.645	1.894	2.324	1.000	撤去土工断面④	既設接続管撤去2
		＋ 6.730	DIP	400	430	2.784	2.235	2.665	1.000	撤去土工断面④	既設接続管撤去3
		＋ 8.900	DIP	400	430	2.170	2.235	2.665	1.000	撤去土工断面④	既設接続管撤去3
		＋ 10.020	DIP	400	430	1.120	1.200	1.630	1.000	撤去土工断面④	既設接続管撤去1
		＋ 10.520	DIP	400	430	0.500	1.200	1.630	1.000	撤去土工断面④	既設管撤去土工で計上
		延長合計				8.219					
		土被り1.200m合計	DIP	400	430	1.120	1.200	1.630	1.000	撤去土工断面④	既設接続管撤去1
		土被り1.894m合計	DIP	400	430	1.645	1.894	2.324	1.000	撤去土工断面④	既設接続管撤去2
		土被り2.235m合計	DIP	400	430	4.954	2.235	2.665	1.000	撤去土工断面④	既設接続管撤去3

土工・土留工内訳　　既設管撤去工

No.	路線名	位置 (測点)	管種	口径 (mm)	外径 (mm)	掘削延長 (m)	土被り DP(m)	掘削深 (m)	掘削幅 (m)	断面 パターン	摘　要

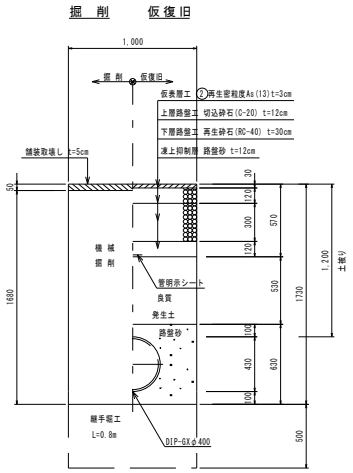


管路土工数量計算書　　DIP φ400

市道(その他市道)	土工断面①-1
口　径(mm)	400
管　種	DIP
土被り(h1)	1.20
延　長	180.00
掘削幅	1.00
掘削深	1.73
	(2.33)
埋設管外径	0.43
発生土埋戻し	0.53
砂埋戻し	0.63

対象区間
配水管　　L=　　180.00

土工断面 ① -1
その他市道

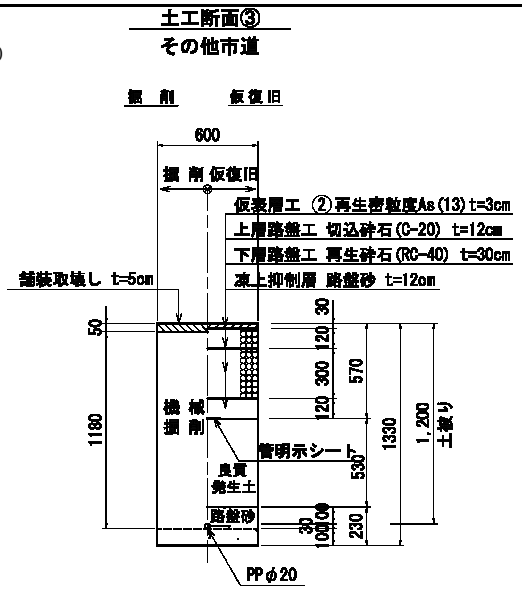


種別・細別	計　算　式							数量	単位
管路掘削									
BH0.28m3	302.40	＋	12.00			＝	314.40	314.4	m3
	掘削深		現況厚	掘削幅	延長				
	(1.73	－	0.05)	× 1.00	× 180.00	＝	302.40		
					30口				
継手堀	0.50	×	1.00	× 0.80	×(180.00 ÷ 6.0)	＝	12.00		
砂埋戻工				継手堀					
BH0.28m3	113.40	－	26.14	＋ 12.00		＝	99.26	99.3	m3
	砂厚		掘削幅	延長					
	0.63	×	1.00	× 180.00		＝	113.40		
				延長					
管控除	0.43	2×	π/4	× 180.00		＝	26.14		
路盤用砂	99.26	×	1.20			＝	119.11	119.1	m3
良質発生土埋戻工	埋戻厚		掘削幅	延長					
BH0.28m3	0.53	×	1.00	× 180.00		＝	95.40	95.4	m3
残土処理工									
BH0.28m3+DT4t	314.40	－	95.40	× 1.11		＝	208.51	208.5	m3
土留工									
軽量鋼矢板 H=2.0m	180.00	－	24.00			＝	156.00	156.0	m
土留工									
軽量鋼矢板 H=2.5m	0.80	×	30口			＝	24.00	24.0	m
土留工									
支保工1段	156.00					＝	156.00	156.0	m
土留工									
支保工2段	24.00					＝	24.00	24.0	m

管路土工数量計算書　　PPφ20

市道(その他市道)	土工断面③
口　径(mm)	20
管　種	PP
土被り(h1)	1.20
延　長	2.400
掘削幅	0.60
掘削深	1.33
埋設管外径	0.03
発生土埋戻し	0.53
砂埋戻し	0.23

対象区間
給水管接続工　L=　2.40



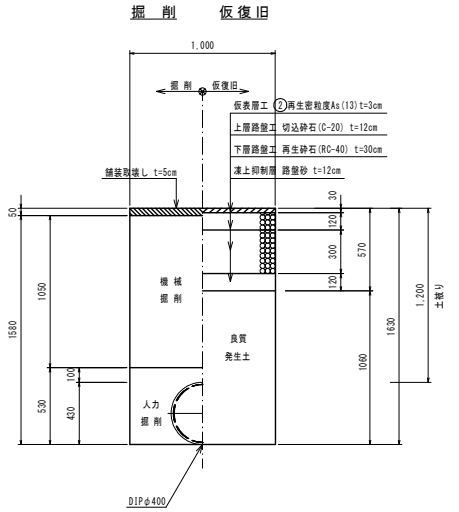
種別・細別	計　算　式		数量	単位
管路掘削 BH0.28m3	1.84	＝ 1.84	1.8	m^3
	掘削深　現況厚　掘削幅　延長 (1.33 － 0.05) × 0.60 × 2.40	＝ 1.84		
砂埋戻工 BH0.28m3	0.33 － 0.002	＝ 0.33	0.3	m^3
	砂厚　掘削幅　延長 0.23 × 0.60 × 2.40	＝ 0.33		
管控除	延長 0.03^2 × π/4 × 2.40	＝ 0.002		
路盤用砂	0.33 × 1.20	＝ 0.40	0.4	m^3
良質発生土埋戻工 BH0.28m3	埋戻厚　掘削幅　延長 0.53 × 0.60 × 2.40	＝ 0.76	0.8	m^3
残土処理工 BH0.28m3+DT4t	1.84 － 0.76 × 1.11	＝ 1.00	1.0	m^3

管路土工数量計算書　　DIPφ400

市道(その他市道)	撤去土工断面④
口　径(mm)	400
管　種	DIP
土被り(h1)	1.200
延　長	184.42
掘削幅	1.00
掘削深	1.63
埋設管外径	0.43
発生土埋戻し	1.060
砂埋戻し	

対象区間
既設管撤去工　L=　184.42

撤去土工断面 ④
その他市道



種別・細別	計　算　式										数量	単位
人力掘削	97.74	−	26.78						=	70.96	71.0	m^3
	幅					延長						
	1.00	×(	0.43	+	0.10	)×	184.42		=	97.74		
管控除	0.43	^{2}×	π/4	×	184.42				=	26.78		
管路掘削	掘削深		現況厚		人力掘削深		掘削幅	延長				
BH0.28m3	(1.63	−	0.05	−	0.53	) ×	1.00	× 184.42	=	193.64	193.6	m^3
良質発生土埋戻工	埋戻厚		掘削幅		延長							
BH0.28m3	1.060	×	1.00	×	184.42				=	195.49	195.5	m^3
残土処理工												
BH0.28m3+DT4t	70.96	+	193.64	−	195.49	×	1.11		=	47.61	47.6	m^3
土留工												
軽量鋼矢板 H=2.0m	184.42								=	184.42	184.4	m
土留工												
支保工1段	184.42								=	184.42	184.4	m

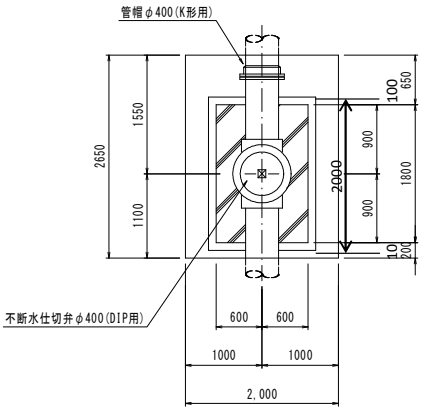
管路土工数量計算書　　DIP φ 400

市道(その他市道)	撤去土工断面④
口　径(mm)	400
管　種	DIP
土被り (h1)	1.200
延　長	
掘削幅	
掘削深	2.18
埋設管外径	0.430
発生土埋戻し	1.610
砂基礎	

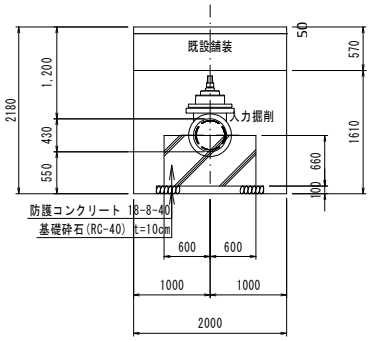
対象区間

不断水仕切弁撤去　　N= 1

平　面　図



断　面　図



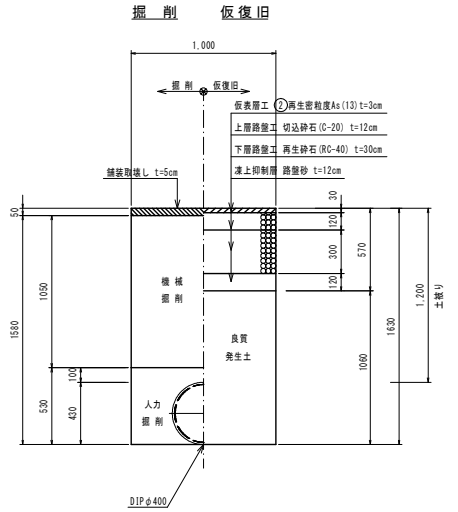
種別・細別	計　算　式										数量	単位
人力掘削	5.19	−	0.38	−	0.28	−	1.43			= 3.10	3.1	m^3
	幅						延長					
	2.00	×(	2.18	−	1.20	)×	2.65	×	1箇所	= 5.19		
管控除	0.43	^{2}×	π/4	×	2.65	×	1箇所			= 0.38		
	幅		延長		高さ							
基礎砕石控除	(1.40	×	2.00	×	0.10	)×	1箇所			= 0.28		
	幅		延長		高さ							
防護Co控除	(1.20	×	1.80	×	0.66	)×	1箇所			= 1.43		
管路掘削	幅						延長					
BH0.28m3	2.00	×(	1.20	−	0.05	)×	2.65	×	1箇所	= 6.1	6.1	m^3
良質発生土埋戻工	埋戻厚		掘削幅		延長							
BH0.28m3	(1.61	×	2.00	×	2.65	)×	1箇所			= 8.53	8.5	m^3
残土処理工	人力掘削		管路掘削									
BH0.28m3+DT4t	3.10	+	6.10	−	8.53	×	1.11		(他工種から流用)	= −0.27	(0.3)	m^3
土留工	幅		延長									
軽量鋼矢板 H=2.5m	(2.00	+	2.65	)×	1箇所					= 4.65	4.7	m
土留工												
支保工2段	4.65									= 4.65	4.7	m
	幅		延長		高さ							
防護コンクリート撤去	(1.20	×	1.80	×	0.66	)×	1箇所			= 1.43	1.4	m^3
Co塊												
Co殻運搬	1.43									= 1.43	1.4	m^3
Co殻処分	1.43	×	2.35							= 3.36	3.4	t

管路土工数量計算書　　DIP φ 400

市道(その他市道)	撤去土工断面④
口　径(mm)	400
管　種	DIP
土被り (h1)	1.200
延　長	1.120
掘削幅	1.00
掘削深	1.63
埋設管外径	0.43
発生土埋戻し	1.060
砂埋戻し	

対象区間
既設接続管撤去1　　L= 1.12

撤去土工断面 ④
その他市道



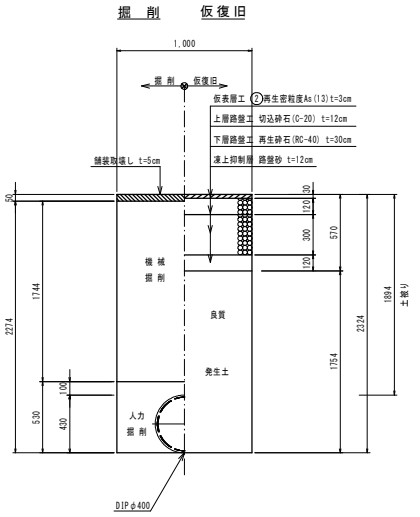
種別・細別	計　算　式									数量	単位
人力掘削	0.59	−	0.16					=	0.43	0.4	m^3
	幅				延長						
	1.00	×(	0.43	+	0.10	)×	1.12	=	0.59		
管控除	0.43	^{2}×	π/4	×	1.12			=	0.16		
管路掘削	掘削深		現況厚		人力掘削深		掘削幅	延長			
BH0.28m3	(1.63	−	0.05	−	0.53	)×	1.00 ×	1.12	= 1.18	1.2	m^3
良質発生土埋戻工	埋戻厚		掘削幅		延長						
BH0.28m3	1.060	×	1.00	×	1.12			=	1.19	1.2	m^3
残土処理工											
BH0.28m3+DT4t	0.43	+	1.18	−	1.19	×	1.11	=	0.29	0.3	m^3
土留工											
軽量鋼矢板 H=2.0m	1.12							=	1.12	1.1	m
土留工											
支保工1段	1.12							=	1.12	1.1	m

管路土工数量計算書　　DIP φ 400

市道(その他市道)	撤去土工断面④
口　径(mm)	400
管　種	DIP
土被り(h1)	1.894
延　長	1.645
掘削幅	1.00
掘削深	2.324
埋設管外径	0.43
発生土埋戻し	1.754
砂埋戻し	

対象区間
既設接続管撤去2　　L= 1.65

撤去土工断面 ④
その他市道



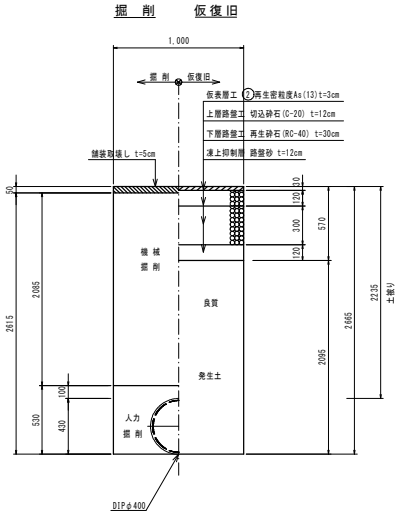
種別・細別	計　算　式	数量	単位
人力掘削	0.87 － 0.24 ＝ 0.63	0.6	m^3
	幅　　延長 1.00 ×(0.43 + 0.10)× 1.645 ＝ 0.87		
管控除	0.43 ^{2}× π/4 × 1.65 ＝ 0.24		
管路掘削 BH0.28m3	掘削深　現況厚　人力掘削深　掘削幅　延長 (2.324 － 0.05 － 0.53)× 1.00 × 1.645 ＝ 2.87	2.9	m^3
良質発生土埋戻工 BH0.28m3	埋戻厚　掘削幅　延長 1.754 × 1.00 × 1.645 ＝ 2.89	2.9	m^3
残土処理工 BH0.28m3+DT4t	0.63 ＋ 2.87 － 2.89 × 1.11 ＝ 0.29	0.3	m^3
土留工 軽量鋼矢板 H=3.0m	1.645 ＝ 1.65	1.7	m
土留工 支保工2段	1.645 ＝ 1.65	1.7	m

管路土工数量計算書　　DIP φ 400

市道(その他市道)	撤去土工断面④
口　径(mm)	400
管　種	DIP
土被り(h1)	2.235
延　長	4.954
掘削幅	1.00
掘削深	2.665
埋設管外径	0.43
発生土埋戻し	2.095
砂埋戻し	

対象区間
既設接続管撤去3　　L= 4.95

撤去土工断面 ④
その他市道



種別・細別	計　算　式										数量	単位
人力掘削	2.63	−	0.72						=	1.91	1.9	m^3
	幅					延長						
	1.00	×(	0.43	+	0.10	)×	4.954		=	2.63		
管控除	0.43	^{2}×	π/4	×	4.95				=	0.72		
管路掘削	掘削深		現況厚		人力掘削深		掘削幅	延長				
BH0.28m3	(2.665	−	0.05	−	0.53	)×	1.00	× 4.954	=	10.33	10.3	m^3
良質発生土埋戻工	埋戻厚		掘削幅		延長							
BH0.28m3	2.095	×	1.00	×	4.954				=	10.38	10.4	m^3
残土処理工												
BH0.28m3+DT4t	1.91	+	10.33	−	10.38	×	1.11		=	0.72	0.7	m^3
土留工												
軽量鋼矢板 H=3.0m	4.954								=	4.95	5.0	m
土留工												
支保工2段	4.954								=	4.95	5.0	m

§4. 舗装工

舗装工数量集計表

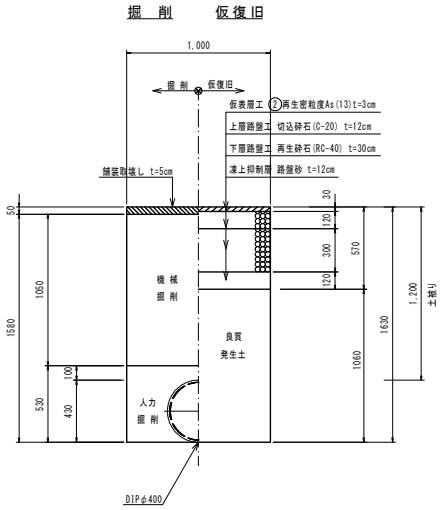
		仮復旧	本復旧						小　計	
舗装版切断工 As(t≦15)	m	582.8	207.9						790.7	m
舗装版取壊し工 As(t≦10) BH0.28	m^2	373.9	596.5						970.4	m2
As塊 As殻運搬	m^3	18.7	22.4						41.1	m3
As殻処分	t	44.0	52.5						96.5	t
管路掘削 BH0.28	m^3		7.5						7.5	m3
残土処理工 BH0.28m3+DT4t	m^3		7.5						7.5	m3
不陸正整工	m^2		596.6						596.6	m2
凍上抑制層 路盤用砂 t=12cm	m^3	44.9							44.9	m3
路盤用砂	m^3	53.8							53.8	m3
下層路盤工 RC-40 t=30cm	m^2	373.9							373.9	m2
上層路盤工 C-20 t=12cm	m^2	373.9							373.9	m2
表層工 再生②13　t=3cm	m^2	373.9							373.9	m2
表層工 ⑤再生密As20F t=5cm	m^2		596.6						596.6	m2

管路土工数量計算書

市道(その他市道)	
口　径(mm)	
管　種	
土被り(h1)	
延　長	
切断箇所数	
掘削幅	
仮復旧幅	
埋設管外径	
砂基礎	

撤去土工断面 ④

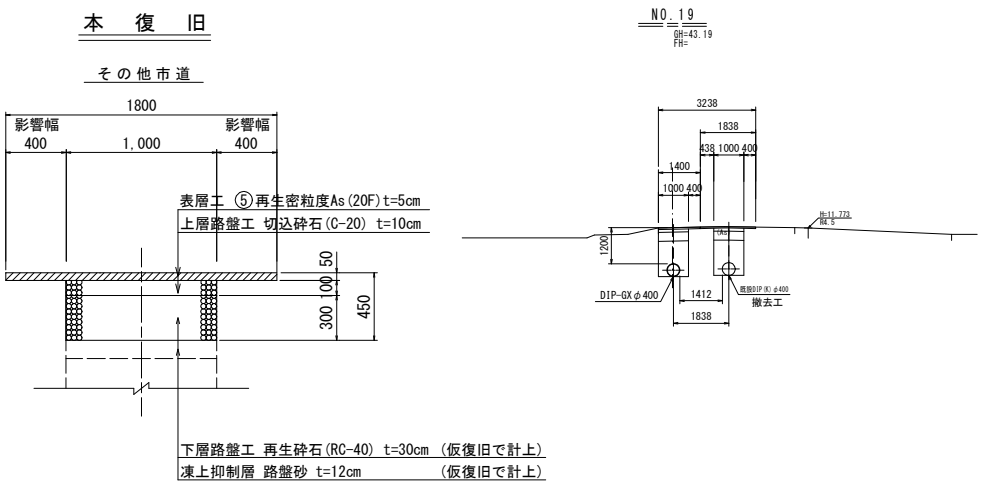
その他市道



種別・細別	計　算　式					数量	単位
舗装版切断	管布設時　既設管撤去時						
AS t≦15cm	195.73	＋	387.09		＝ 582.82	582.8	m
	管布設時						
	99.62	＋	88.75	＋ 7.36　舗装復旧平面図(1/6～2/6)参照	＝ 195.73		
	既設管撤去時						
	67.63	＋	142.95	＋ 176.51　舗装復旧平面図(3/6～4/6)参照	＝ 387.09		
舗装版取壊し工	管布設時　既設管撤去時						
As t=5m	177.60	＋	196.32		＝ 373.92	373.9	m^2
	管布設時						
	91.65	＋	85.95	舗装復旧平面図(1/6～2/6)参照	＝ 177.60		
	既設管撤去時						
	37.09	＋	71.48	＋ 87.75　舗装復旧平面図(3/6～4/6)参照	＝ 196.32		
As塊							
As殻運搬	373.92	×	0.05		＝ 18.70	18.7	m^3
As殻処分	18.70	×	2.35		＝ 43.95	44.0	t
凍上抑制層	仮復旧面積		舗装厚				
路盤用砂	373.92	×	0.12		＝ 44.87	44.9	m^3
	仮復旧面積						
路盤用砂	44.87	×	1.20		＝ 53.84	53.8	m^3
下層路盤工(RC-40)	仮復旧面積						
t=30cm	373.92				＝ 373.92	373.9	m^2
上層路盤工(C-20)	仮復旧面積						
t=12cm	373.92				＝ 373.92	373.9	m^2
表層工	仮復旧面積						
再生②13 t=3cm	373.92				＝ 373.92	373.9	m^2

管路土工数量計算書

市道(その他市道)	
口　径(mm)	
管　種	
土被り(h1)	
延　長	
掘削幅	
埋設管外径	
砂基礎	



種別・細別	計　算　式							数量	単位
舗装版切断	本復旧面積								
AS t≦15cm	108.97	＋	91.53	＋	7.36	舗装復旧平面図(5/6～6/6)参照	＝ 207.86	207.9	m
舗装版取壊し工	本復旧面積				仮復旧面積				
As t=5cm	310.44	＋	286.11	－	373.92	舗装復旧平面図(5/6～6/6)参照	＝ 222.63	222.6	m^2
舗装版取壊し工	仮復旧面積								
As t=3cm	373.92						＝ 373.92	373.9	m^2
As塊									
As殻運搬	222.63	×	0.05	＋	373.92	× 0.03	＝ 22.35	22.4	m^3
As殻処分	22.35	×	2.35				＝ 52.52	52.5	t
管路掘削	仮復旧面積								
BH0.28m3	373.92	×	0.02				＝ 7.48	7.5	m^3
残土処理工									
BH0.28m3+DT4t	7.48						＝ 7.48	7.5	m^3
	本復旧面積								
不陸正整工	310.44	＋	286.11			舗装復旧平面図(5/6～6/6)参照	＝ 596.55	596.6	m^2
表層工	本復旧面積								
⑤再生密As20F t=5cm	310.44	＋	286.11			舗装復旧平面図(5/6～6/6)参照	＝ 596.55	596.6	m^2



北海道地図株式会社

0 250 500 750 1000 m

1:25000

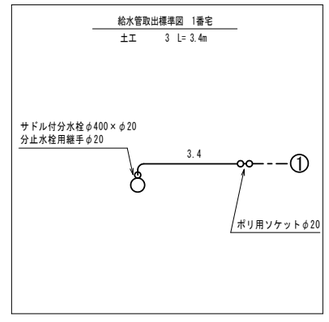
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図及び２万５千分の１地形図を使用したものである。（承認番号　平 17 総使、第10-183号）」

令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
平面図(1/2)	縮尺　S=1:500
図面番号	葉中
平　　川　　市	
青　　森　　県	

平面図（1／2）

S=1:500

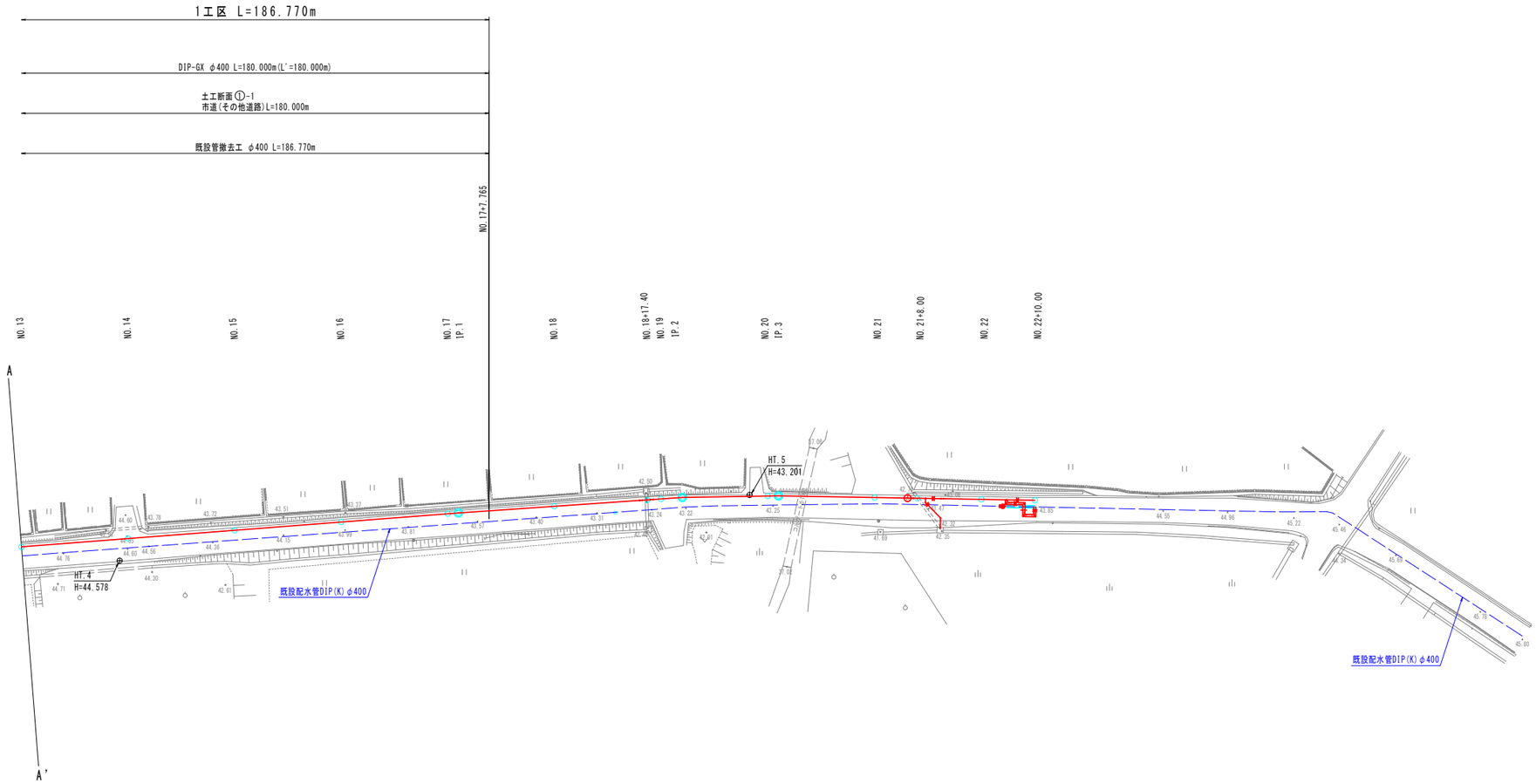




令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
平面図(2/2)	縮尺　S=1:500
図面番号	葉中
平　川　市	
青　森　県	

平面図（2／2）

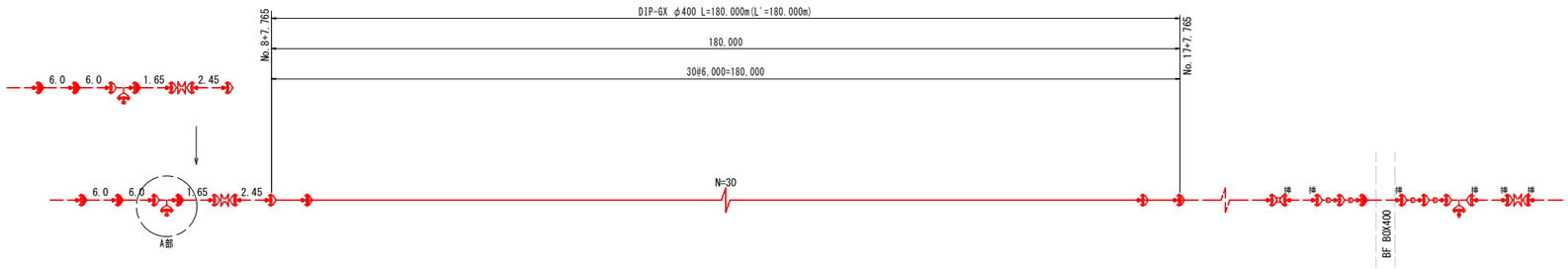
S=1:500



令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施工箇所	平川市新屋　地内
管割図	縮尺　S=None
図面番号	葉中
平川市	
青森県	

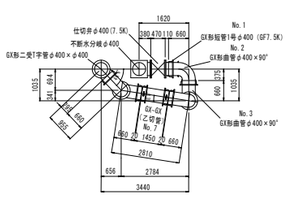
管　割　図

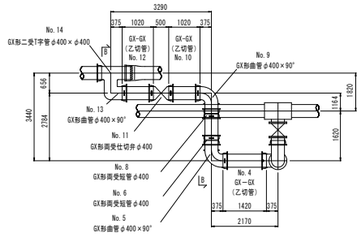
S=None



A 部 詳 細 図

B-B矢視図





	GX形継手
	GX形継手(ライナ)
挿	切管挿し口加工
G	GX形継手(Gリンク)

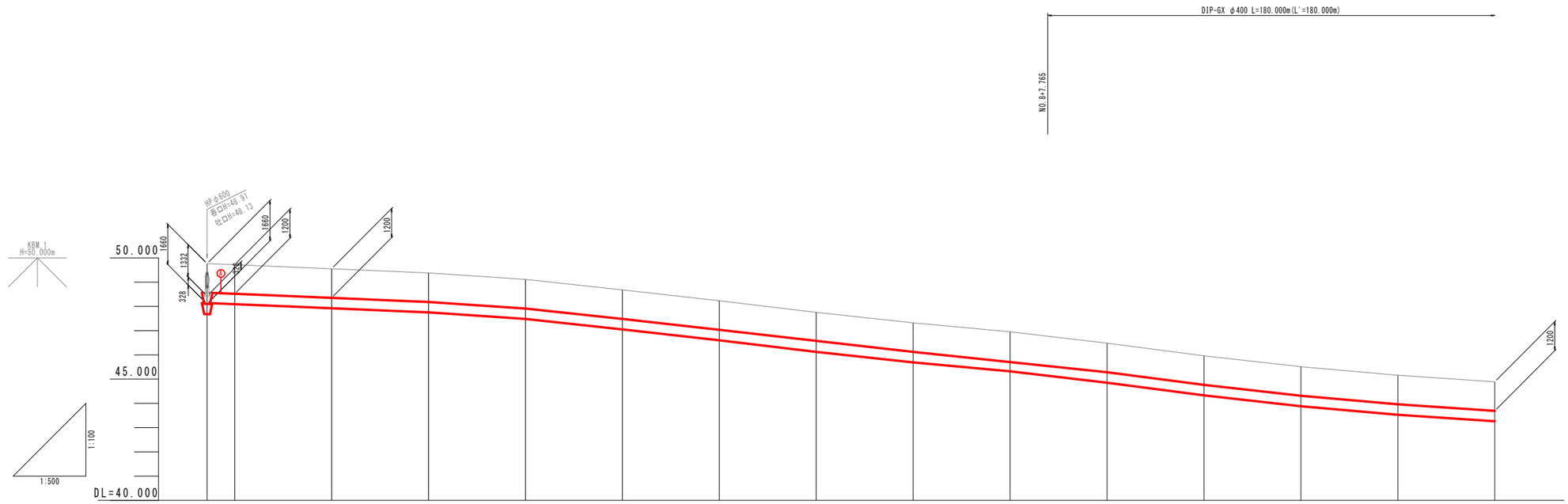
GX形必要一体化長さ（DP=1.20m）　[設計水圧 0.75MPa]ポリスリーブ使用

曲管角度	口　径	一体化長さ	T字管,仕切弁,管端部	口　径	一体化長さ
45°を超え90°以下	φ400	10.0m	T字管部	φ400	7.0m
22.5°を超え45°以下	φ400	4.0m	管 端 部	φ400	15.0m
22.5°以下	φ400	1.0m	仕切弁部	φ400	15.0m

令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
縦断図(1/2)	縮尺　H=1:100 V=1:500
図面番号	葉中
平　川　市	
青　森　県	

縦 断 図 (1 / 2)

H=1:100
V=1:500

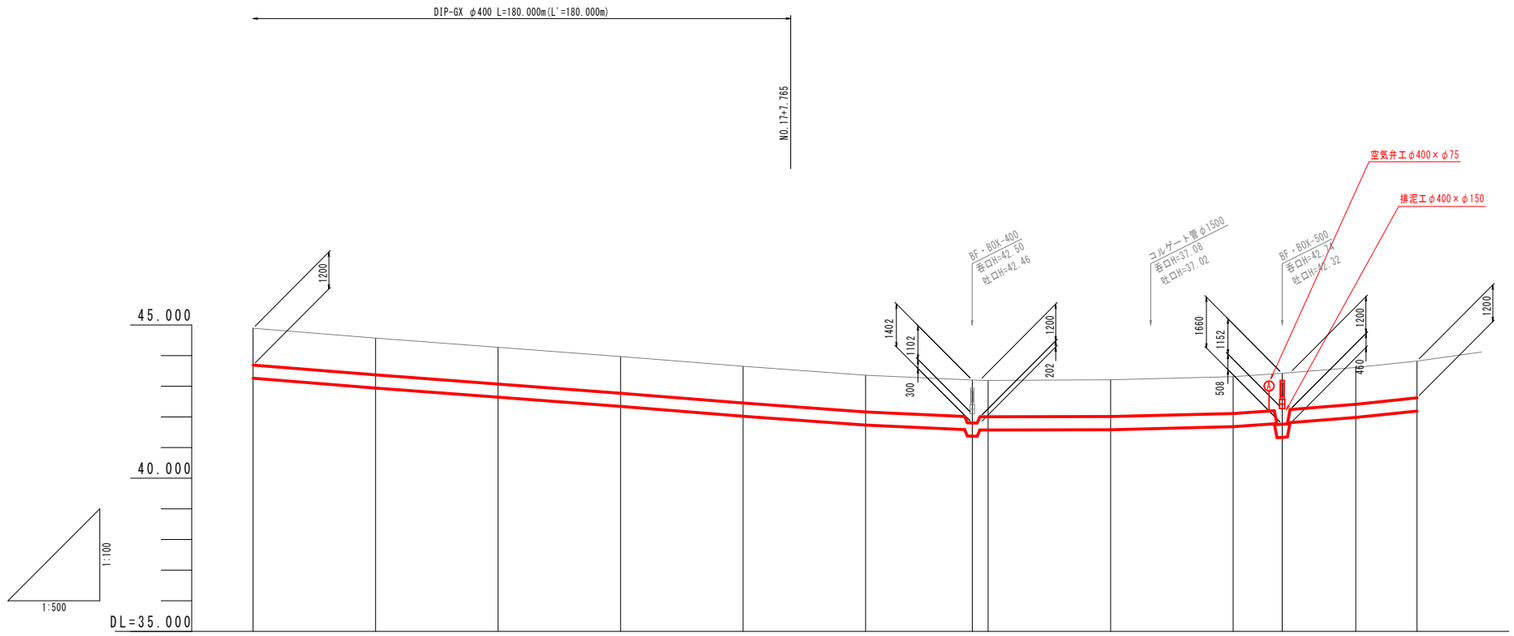


区分														
計画	管種延長	DIP-GX φ400 L=450.0m(L'=450.47m)												
	掘削深	47.848	47.848	47.848	47.75	47.48	47.05	46.60	46.12	45.69	45.32	44.85	44.33	43.88	43.53	43.26
	土被り	1.482	1.442	1.272	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
現況	管盤高	49.76	49.72	49.55	49.38	49.11	48.68	48.23	47.75	47.32	46.95	46.48	45.96	45.51	45.16	44.89
	追加距離	-5.700	0.000	20.000	40.000	60.000	80.000	100.000	120.000	140.000	160.000	180.000	200.000	220.000	240.000	260.000
	単距離	-5.700	5.700	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000
	測点	NO.0-5.7	NO.0	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6	NO.7	NO.8	NO.9	NO.10	NO.11	NO.12	NO.13

令和 8年度 配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第 号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋 地内
縦断図(2/2)	縮尺 H=1:100 V=1:500
図面番号	葉中
平川市	
青森県	

縦断図（2／2）

H=1:100
V=1:500



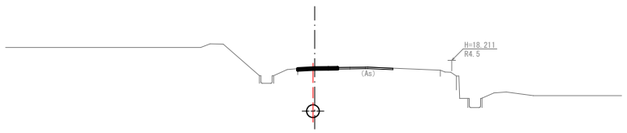
計画	管理延長	DIP-GX φ400 L=450.0m(L'=450.47m)											
	掘削深	43.26	42.94	42.64	42.34	42.02	41.73	41.368	41.56	41.58	41.68	41.33	41.98	42.19
	土被り	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.402	1.20	1.20	1.20	1.66	1.20	1.20
現況	地盤高	44.89	44.57	44.27	43.97	43.65	43.36	43.20	43.19	43.21	43.31	43.42	43.61	43.82
	追加距離	260.000	280.000	300.000	320.000	340.000	360.000	377.400	380.000	400.000	420.000	428.000	440.000	450.000
	単距離	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	17.400	2.600	20.000	20.000	8.000	12.000	10.000
	測点	NO.13	NO.14	NO.15	NO.16	NO.17	NO.18	NO.18+17.4	NO.19	NO.20	NO.21	NO.21+8.0	NO.22	EP.1

令和 8年度 配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第 号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋 地内
横断図(1/2)	縮尺 S=1:100
図面番号	葉中
平川市	
青森県	

横断図（1／2）

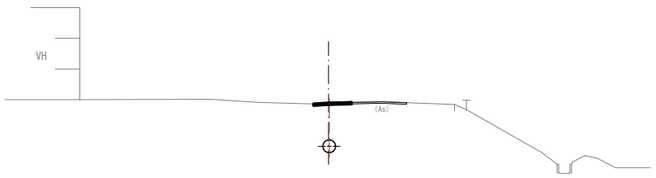
S=1:100

NO.2
GH=49.38
FH=



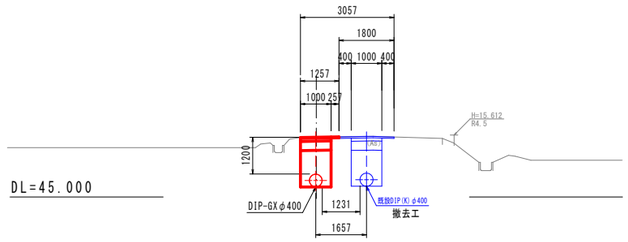
DL=45.000

NO.5
GH=48.23
FH=



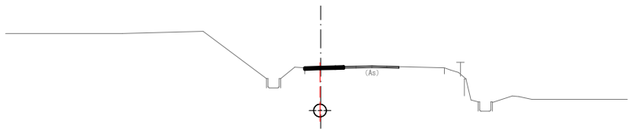
DL=45.000

NO.8(NO.8+7.765)
GH=46.95
FH=



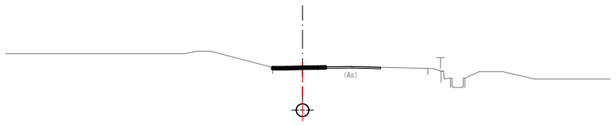
DL=45.000

NO.1
GH=49.55
FH=



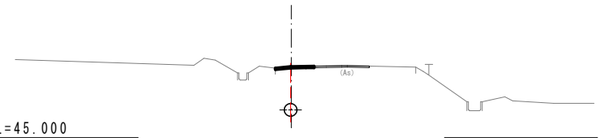
DL=45.000

NO.4
GH=48.68
FH=



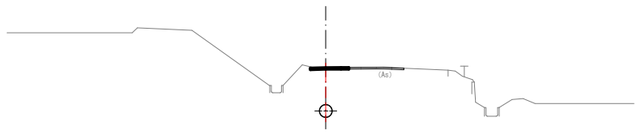
DL=45.000

NO.7
GH=47.32
FH=



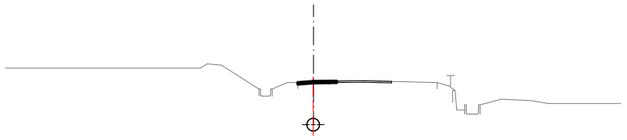
DL=45.000

NO.0
GH=49.72
FH=



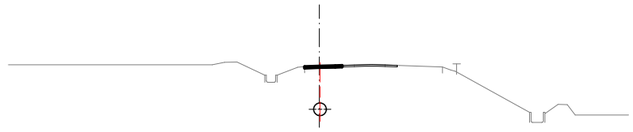
DL=45.000

NO.3
GH=49.11
FH=



DL=45.000

NO.6
GH=47.75
FH=



DL=45.000

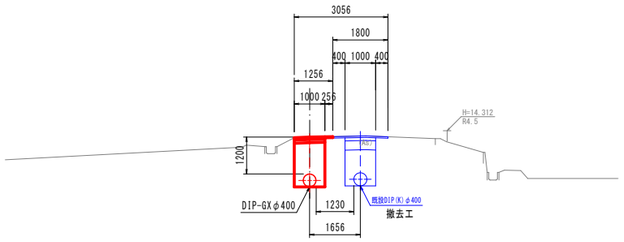
令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
横断図(2/2)	縮尺　S=1:100
図面番号	葉中
平　川　市	
青　森　県	

横断図（2／2）

S=1:100

NO.11

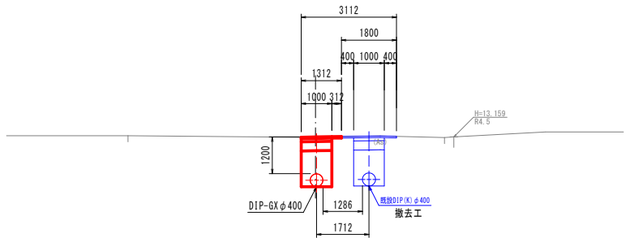
GH=45.51
FH=



DL=40.000

NO.14

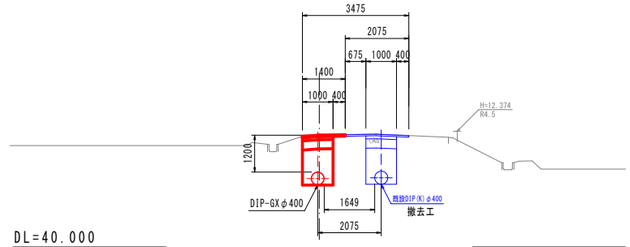
GH=44.57
FH=



DL=40.000

NO.17(NO.17+7.765)

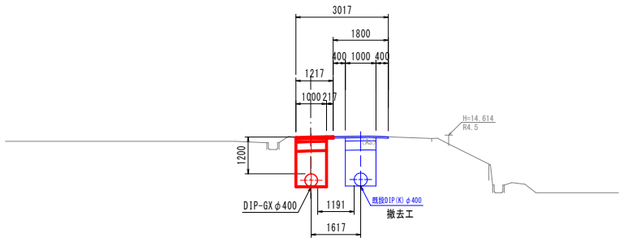
GH=43.65
FH=



DL=40.000

NO.10

GH=45.96
FH=



DL=40.000

NO.13

GH=44.89
FH=

DL=40.000

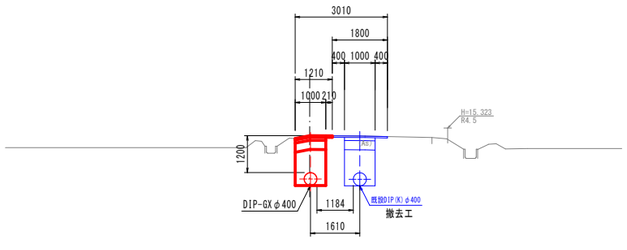
NO.16

GH=43.97
FH=

DL=40.000

NO.9

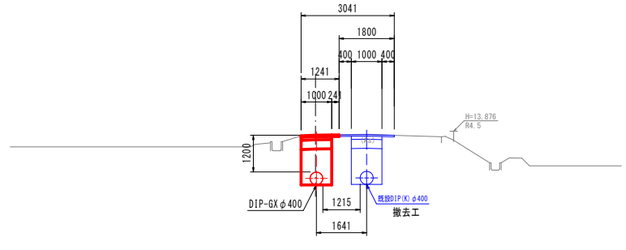
GH=46.48
FH=



DL=40.000

NO.12

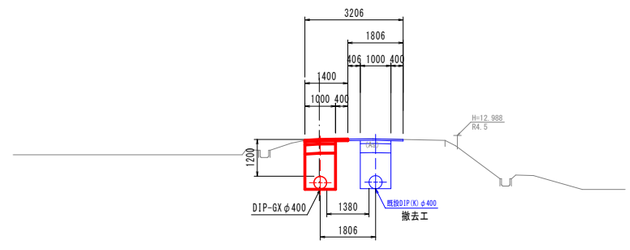
GH=45.16
FH=



DL=40.000

NO.15

GH=44.27
FH=



DL=40.000

令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線名 河川名	尾崎安田1号線
施工箇所	平川市新屋　地内
掘削・復旧断面図	縮尺　S=1:20
図面番号	薬中
平川市	
青森県	

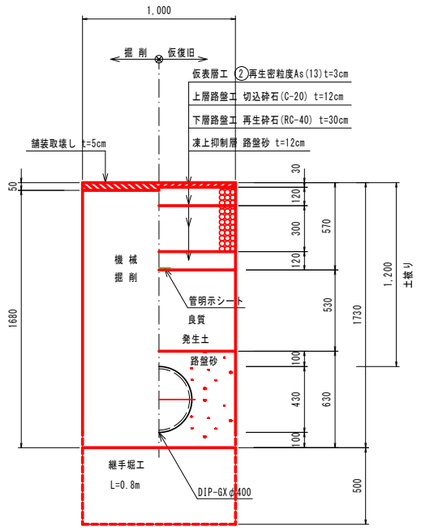
掘削・復旧断面図

S=1:20

土工断面 ①-1

その他市道

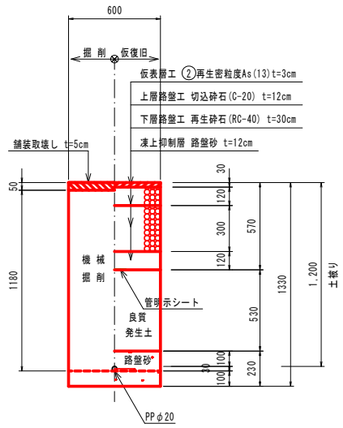
掘　削　　仮復旧



土工断面 ③

その他市道

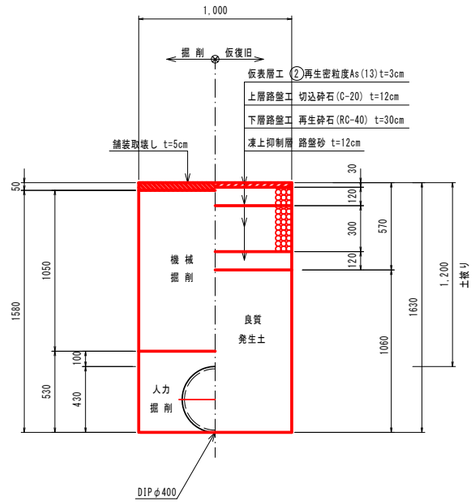
掘　削　　仮復旧



撤去土工断面 ④

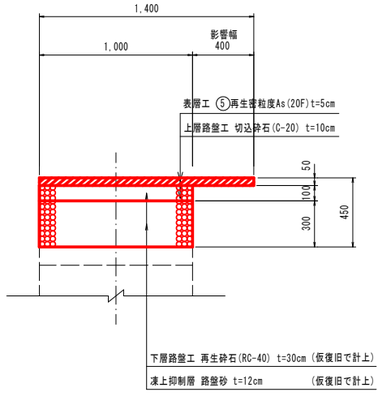
その他市道

掘　削　　仮復旧



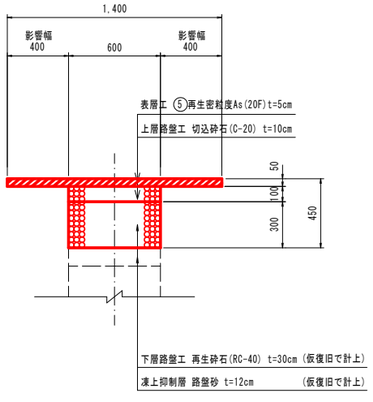
本　復　旧

その他市道



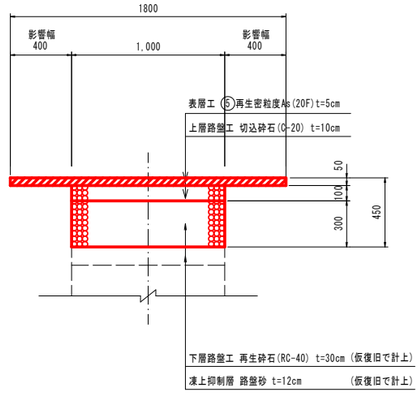
本　復　旧

その他市道



本　復　旧

その他市道

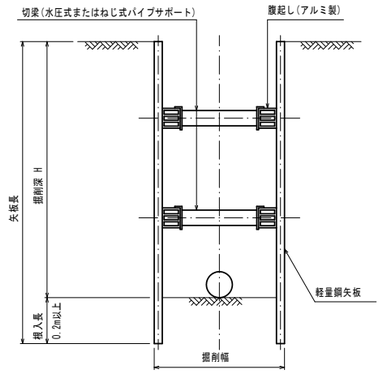


注)発生土が埋戻に適さない場合は、協議により購入土とすることが出来る。

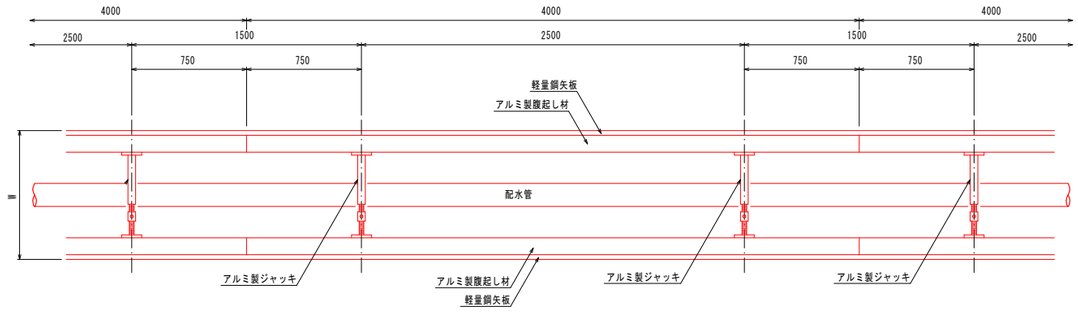
令和 8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
土留工標準図	縮尺　S=1:20
図面番号	葉中
平川市	
青森県	

土 留 工 標 準 図

S=1:20



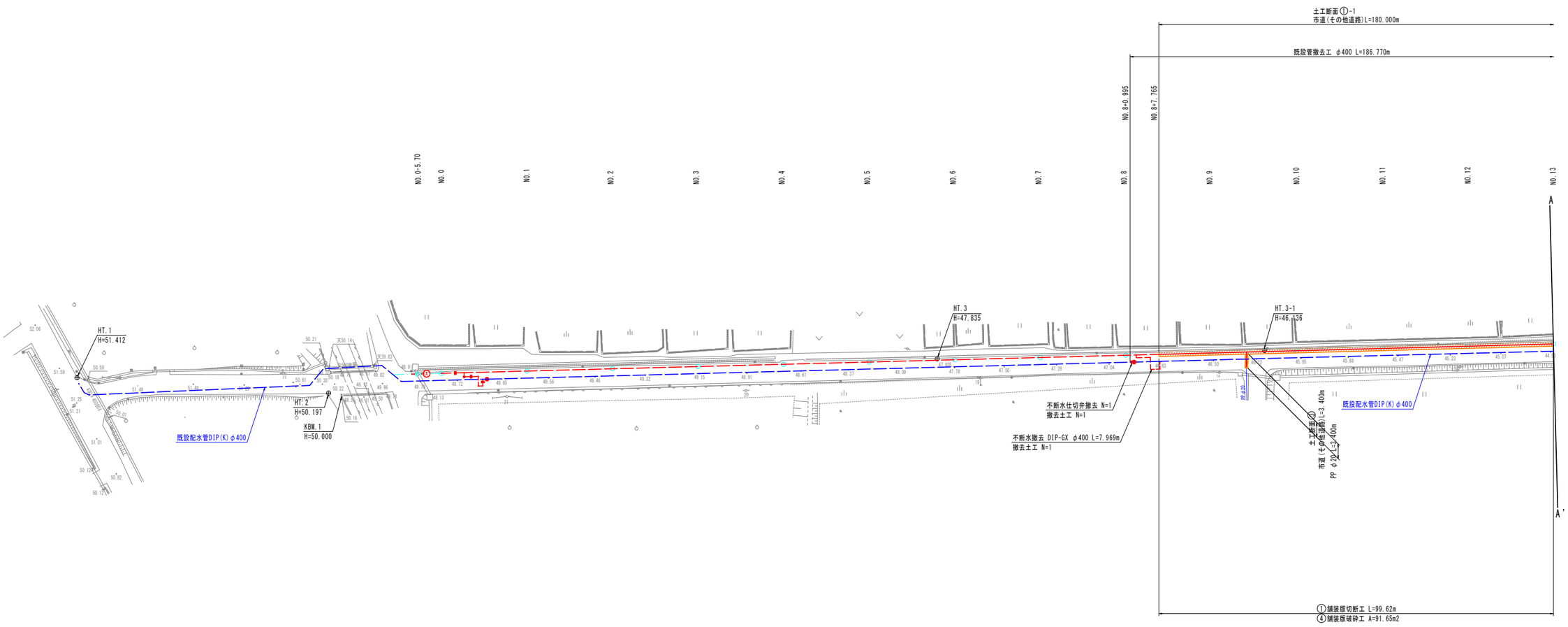
掘削深 (m)	土留工 (m)	切梁 段数
～1.49	素掘	—
1.50～1.80	2.00	1
1.81～2.00	2.50	1
2.01～2.30		2
2.31～2.80	3.00	2



令和 8年度 配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第 号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋 地内
舗装復旧平面図(1/6)	縮尺 S=1:500
図面番号	葉中
平川市	
青森県	

舗装復旧平面図(1/6)

(本管布設仮復旧) S=1:500

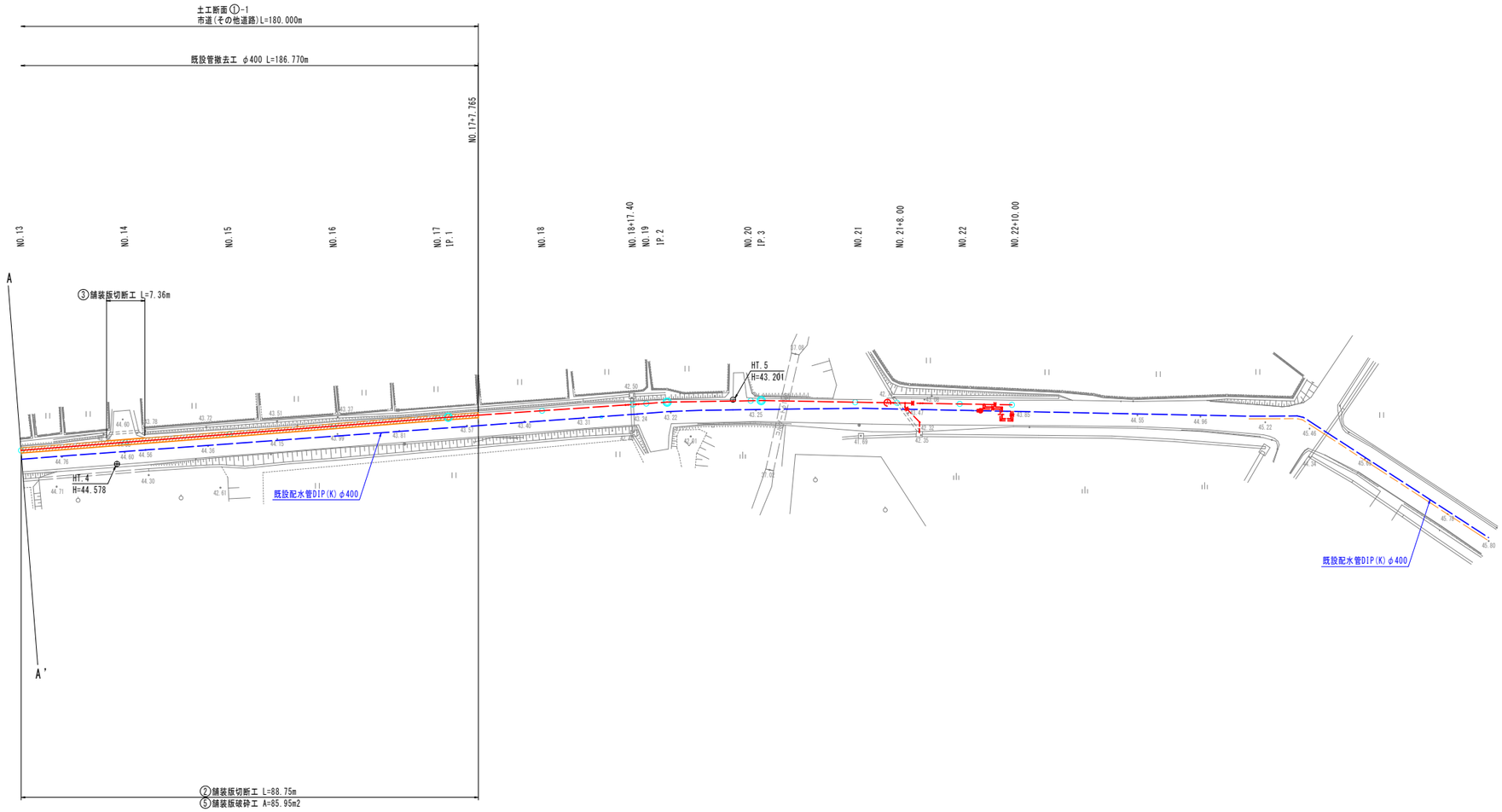


令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
舗装復旧平面図(2/6)	縮尺　S=1:500
図面番号	葉中
平　川　市	
青　森　県	

舗装復旧平面図(2/6)

(本管布設仮復旧)

S=1:500

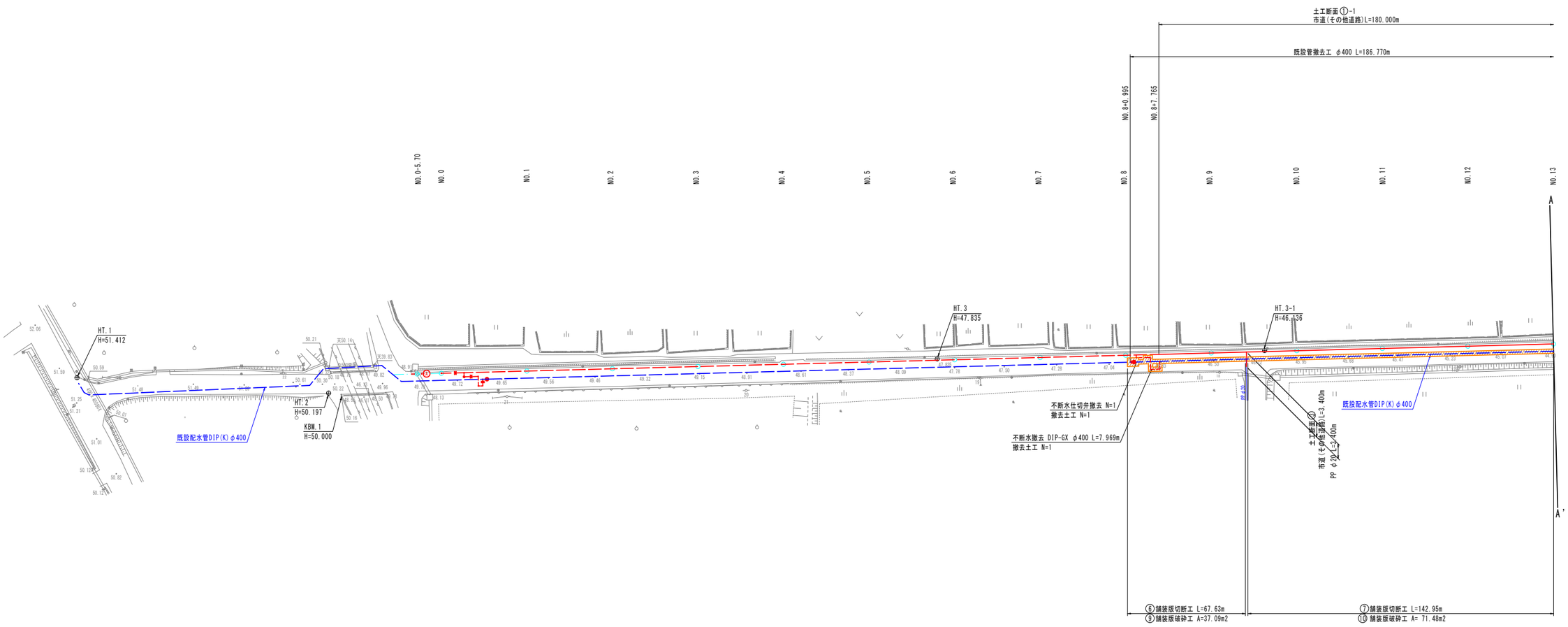


令和 8年度 配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第 号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋 地内
舗装復旧平面図(3/6)	縮尺 S=1:500
図面番号	葉中
平川市	
青森県	

舗装復旧平面図(3/6)

(既設管撤去仮復旧)

S=1:500

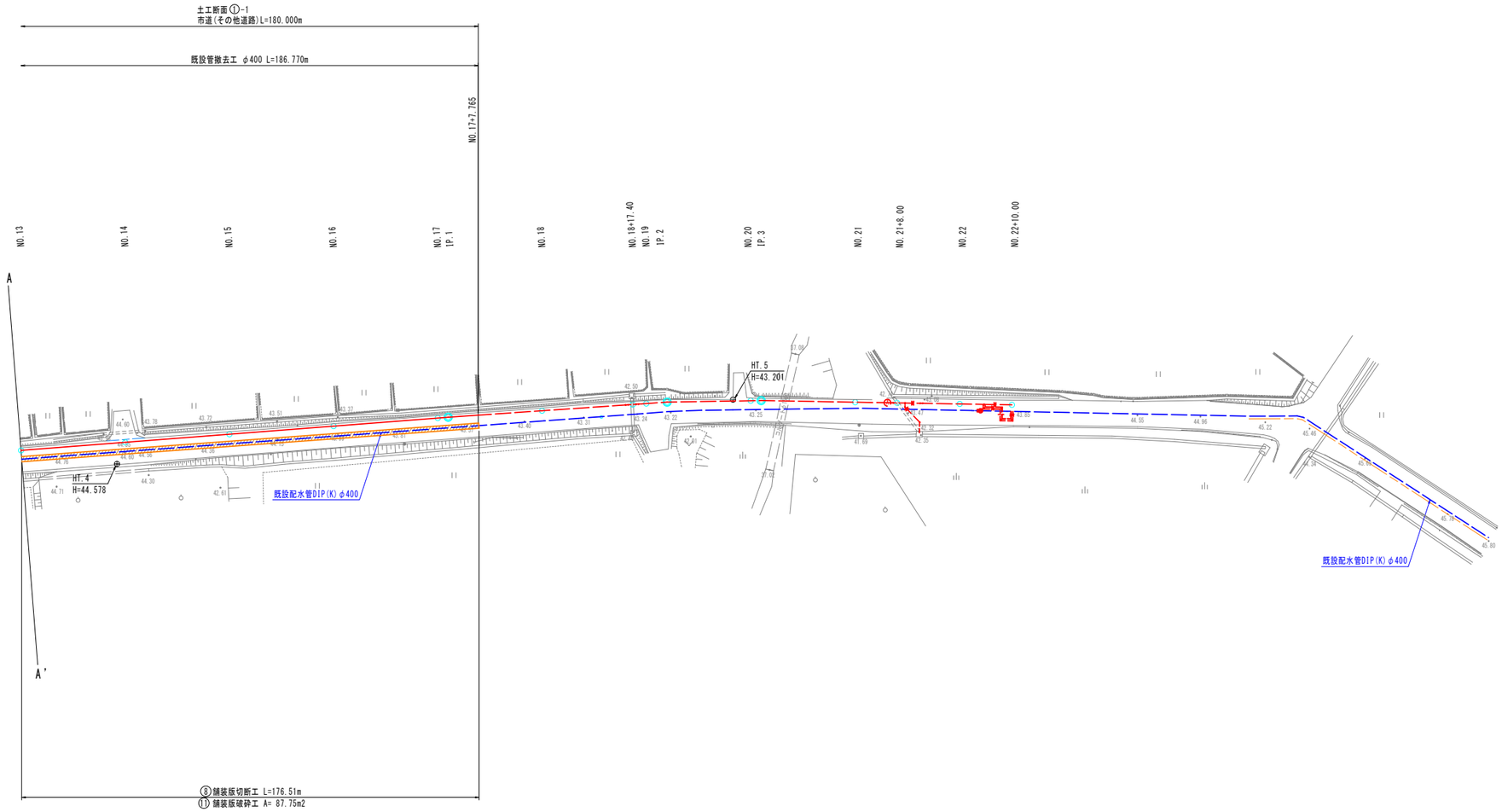


令和 8年度 配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第 号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋 地内
舗装復旧平面図(4/6)	縮尺 S=1:500
図面番号	葉中
平川市	
青森県	

舗装復旧平面図(4/6)

(既設管撤去仮復旧)

S=1:500

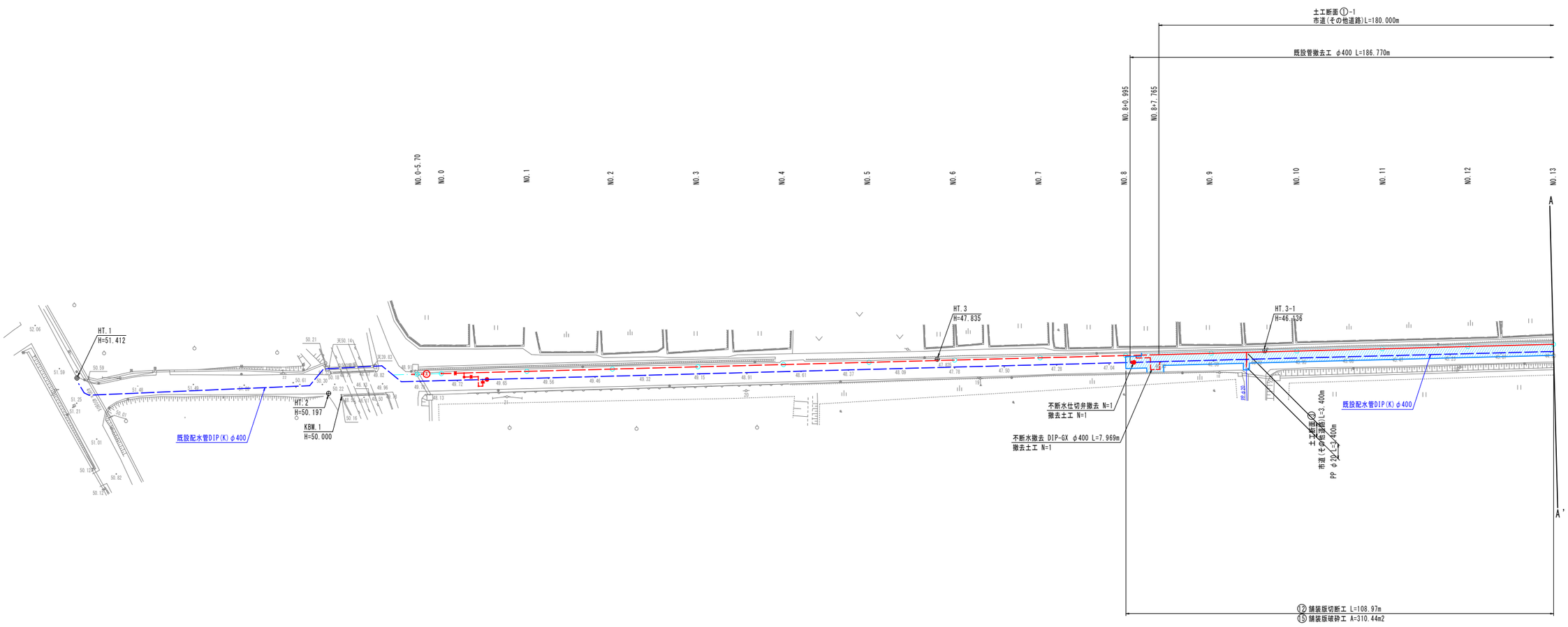


令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
舗装復旧平面図(5/6)	縮尺　S=1:500
図面番号	葉中
平　　川　　市	
青　　森　　県	

舗装復旧平面図(5/6)

S=1:500

（本復旧）



令和　8年度　配水管耐震化工事	
工事番号	平公上工第　　号
路線河川名	尾崎安田1号線
施行箇所	平川市新屋　地内
舗装復旧平面図(6/6)	縮尺　S=1:500
図面番号	葉中
平　川　市	
青　森　県	

舗装復旧平面図(6/6)

S=1:500

（本復旧）

